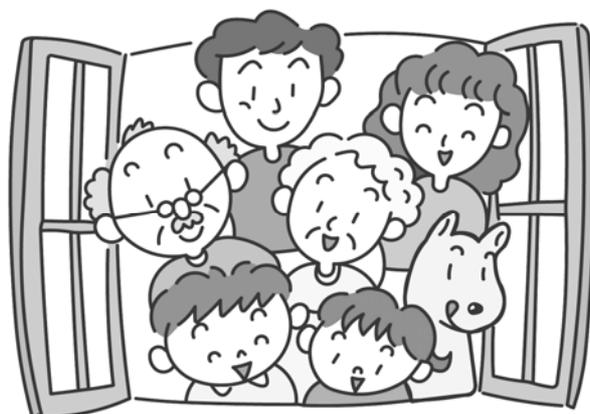


「川西町第2次総合計画」策定
まちづくりアンケート調査報告書



平成18年3月

川西町 総務課企画財政室

目次

1. 調査概要

2. 調査結果

(1) 回答者の属性	4
(2) 川西町の住みごころ	
1) 住みごころ	5
2) 住みやすい理由	7
3) 住みにくい理由	9
4) これまでのまちづくりへの評価	12
(3) 今後のまちづくりに必要なこと	
1) 基盤整備の必要施策	13
2) 安心・安全に関わる必要施策	15
3) 健康・福祉の充実施策	16
4) 教育・生涯学習の充実施策	18
5) 人権尊重の充実施策	19
6) 産業振興・活性化の必要施策	20
7) 行政改革の必要施策	21
(4) まちづくりへの住民参加	
1) 住民がまちづくり参加できること	22
2) 自分がまちづくり参加できること	23
(5) まちの将来像	
1) 将来の川西町のイメージ	26
2) 今後10年間の重要施策	28
(6) 市町村合併	
1) 合併について	30
2) 合併に期待すること	32
3) 合併で不安なこと	33

1. 調査概要

(1) 調査対象

市内に在住する18歳以上の住民1,600人を無作為抽出

(2) 調査方法

郵送による配布・回収

(3) 調査基準日

平成18年1月1日

(3) 調査期間

平成18年1月17日から平成18年1月31日

(4) 回収率

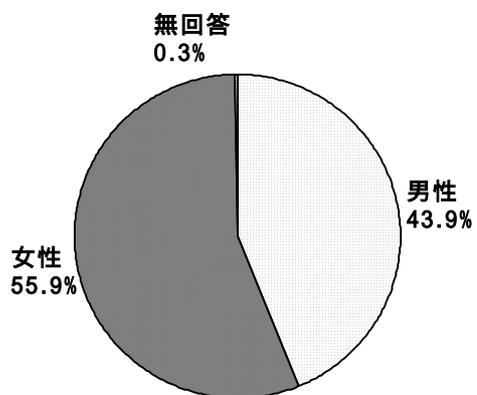
配布数	有効回答数	回収率
1,600	766	47.9%

注：調査結果のパーセント表示については、小数第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

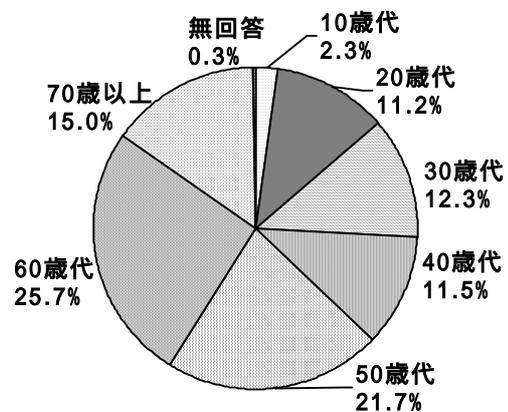
2. 調査結果

(1) 回答者の属性

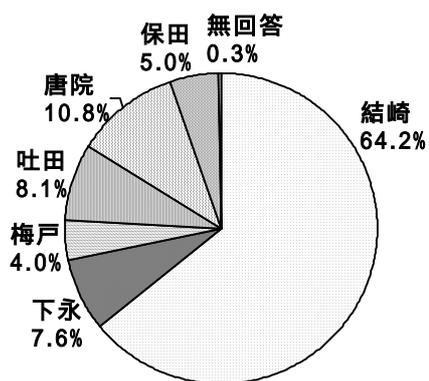
性別 (問1)



年齢 (問2)



居住地区 (問3)



(2) 川西町の住みごころ

1) 住みごころ (問4)

川西町は住みやすいと思いますか。《1つだけ選んでください》

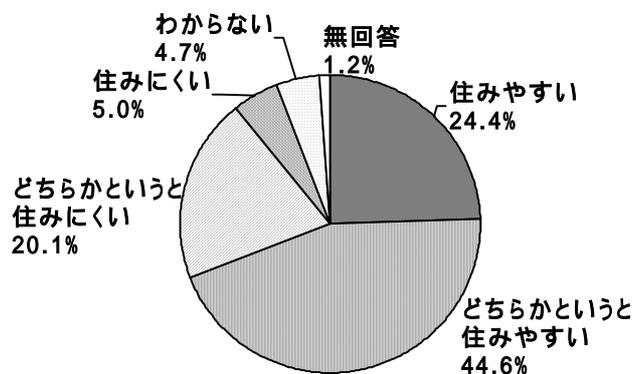
全体では、「住みやすい」が24.4%、「どちらかというに住みやすい」が44.6%で、合わせて69.0%が住みよいと回答しています。一方、「どちらかというに住みにくい」は20.1%、「住みにくい」は5.0%で、合わせて25.1%となっています。

年齢別では、10歳代、20歳代、40歳代では評価がややきびしくなり、「どちらかというに住みにくい」「住みにくい」の合計が30%以上となっています。

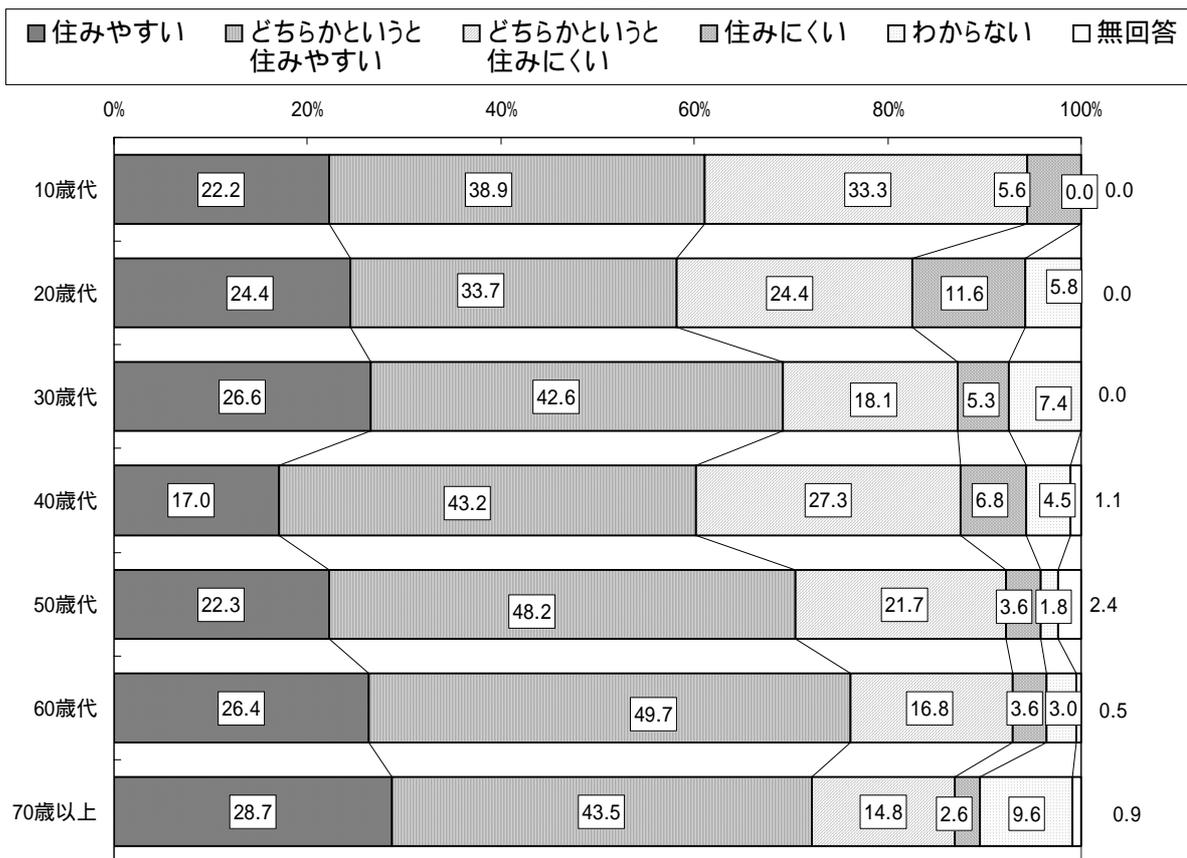
居住地区別では、保田で特に評価が低く、「住みにくい」「どちらかというに住みにくい」の合計が約60%となっています。また、吐田、唐院でも40%以上という結果でした。

<全体>

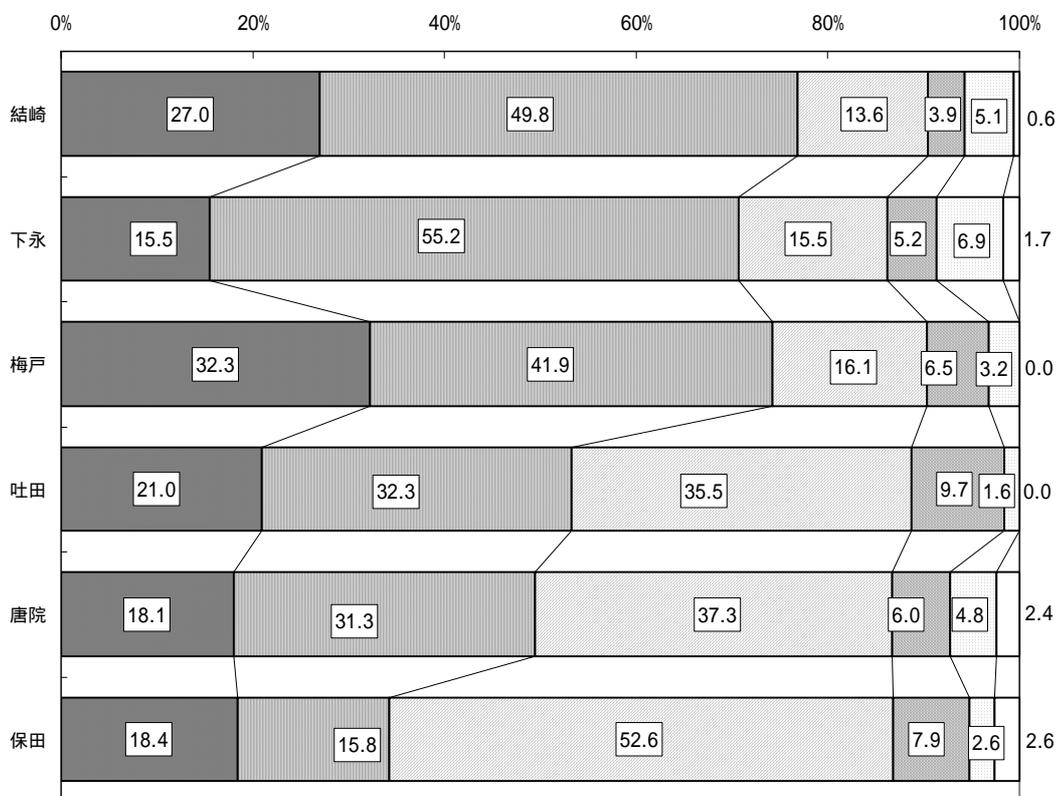
(全体数 766)



< 年齢別 >



< 居住地区別 >



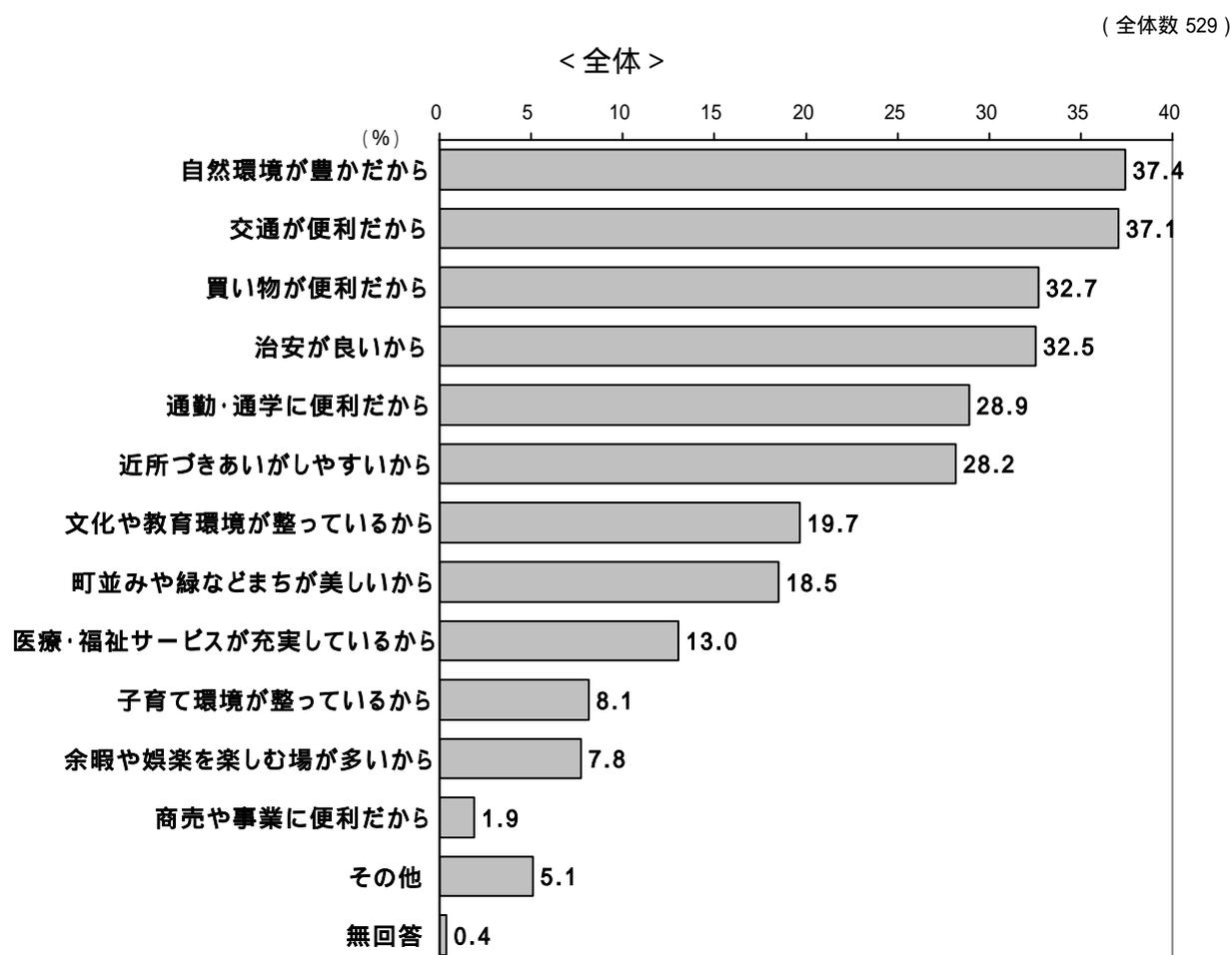
2) 住みやすい理由 (問5)

問4で「1. 住みやすい」「2. どちらかという住みやすい」を選んだ方にお聞きします。住みやすいと思う主な理由は何ですか。《3つまで選んでください》

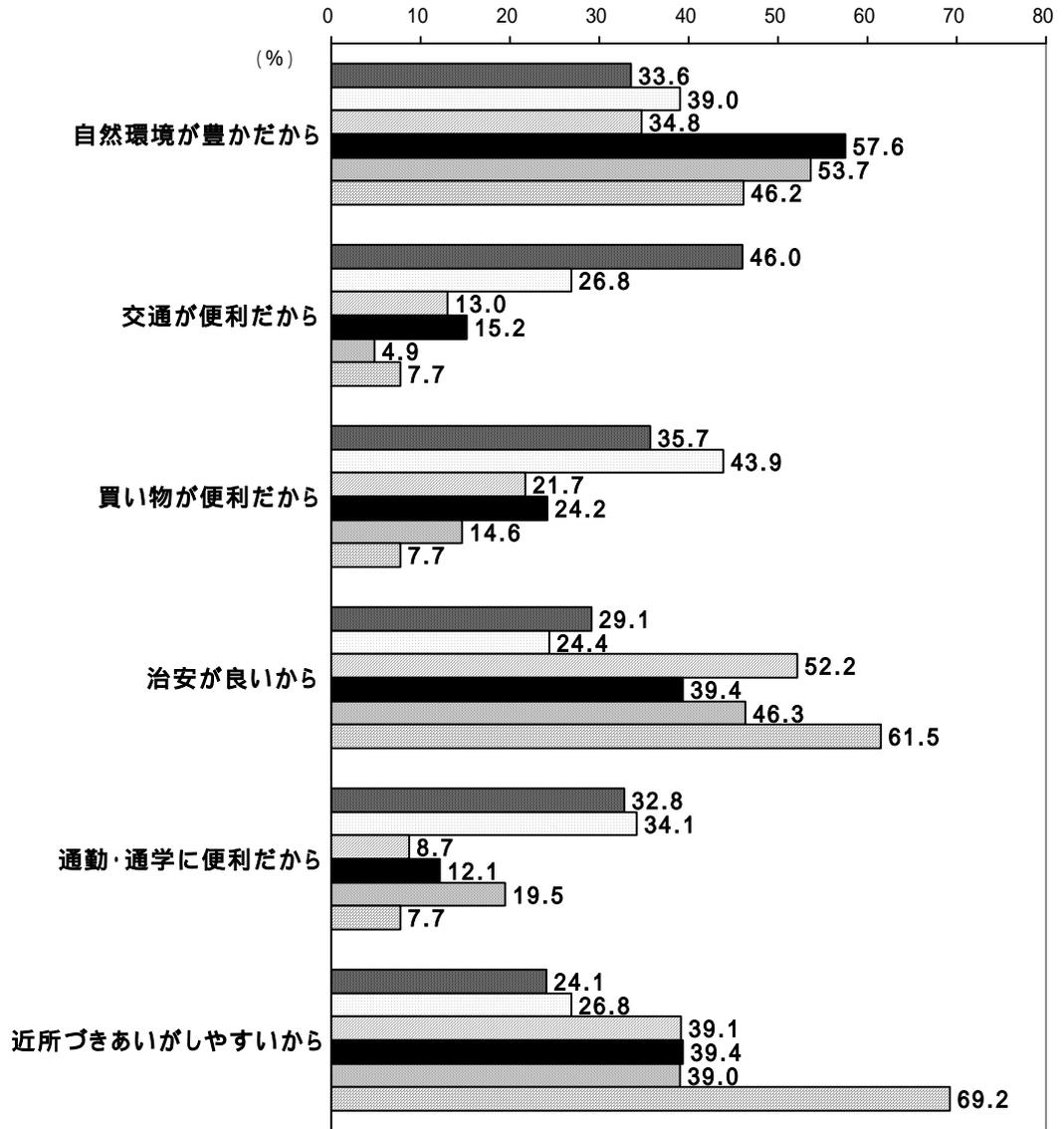
全体では、最も回答率の高かったのは「自然環境が豊かだから」の37.4%で、次いで「交通が便利だから」37.1%、「買い物が便利だから」32.7%、「治安が良いから」32.5%の順となっています。また、「通勤・通学に便利だから」28.9%、「近所づきあいがしやすいから」も28.2%と比較的高い結果でした。

居住地区別にみると、結崎では「交通が便利だから」への回答率が最も高く、下永では「買い物が便利だから」、梅戸では「治安が良いから」、保田では「近所づきあいがしやすいから」が最も高いという結果でした。

また、特に「交通が便利だから」への回答については、結崎、下永では高い回答率ですが、その他の地区では逆に低いことがわかります。



<居住地区別> 上位6項目



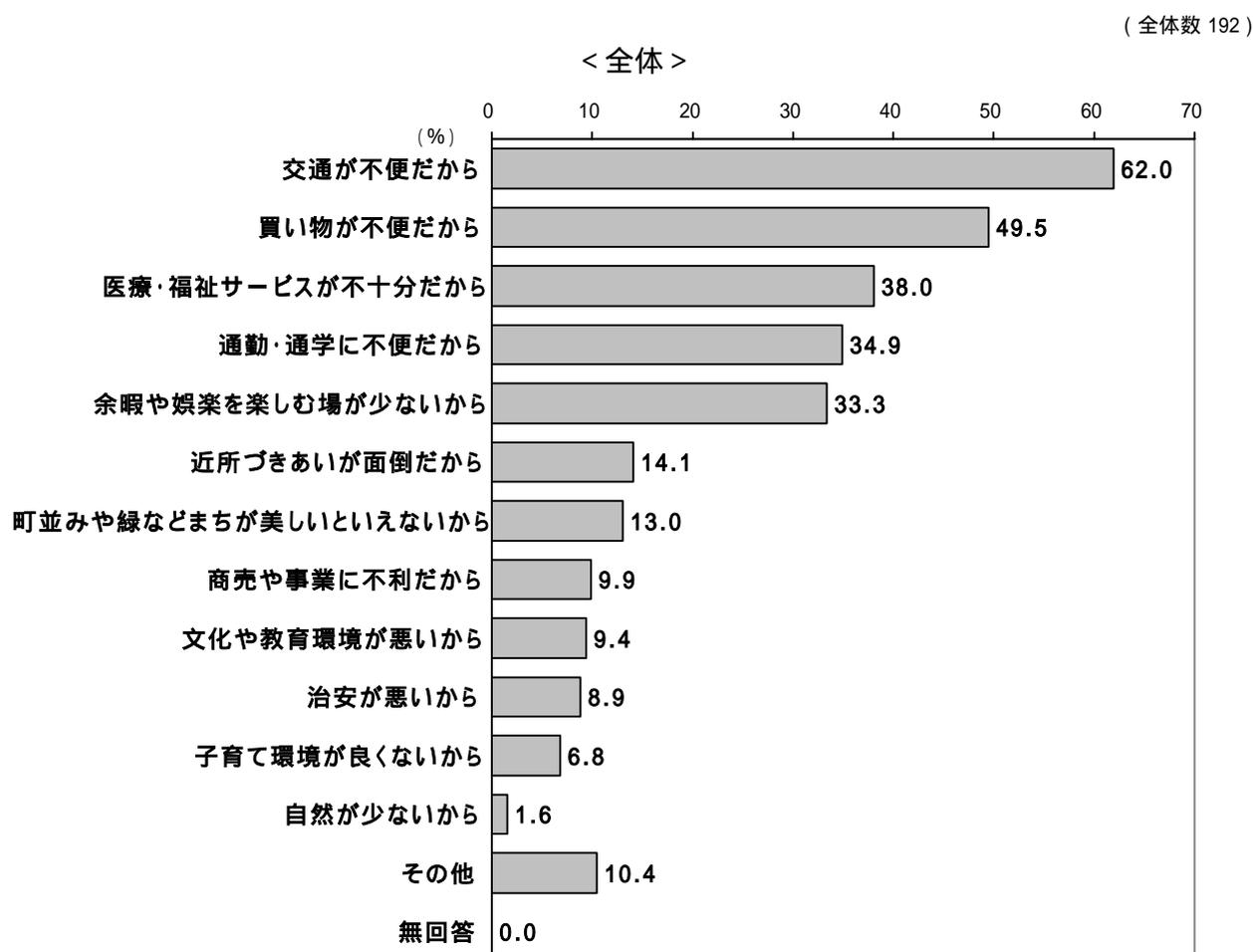
3) 住みにくい理由 (問6)

問4で、「3. どちらかというに住みにくい」「4. 住みにくい」を選んだ方にお聞きします。住みにくいと思う主な理由は何ですか。《3つまで選んでください》

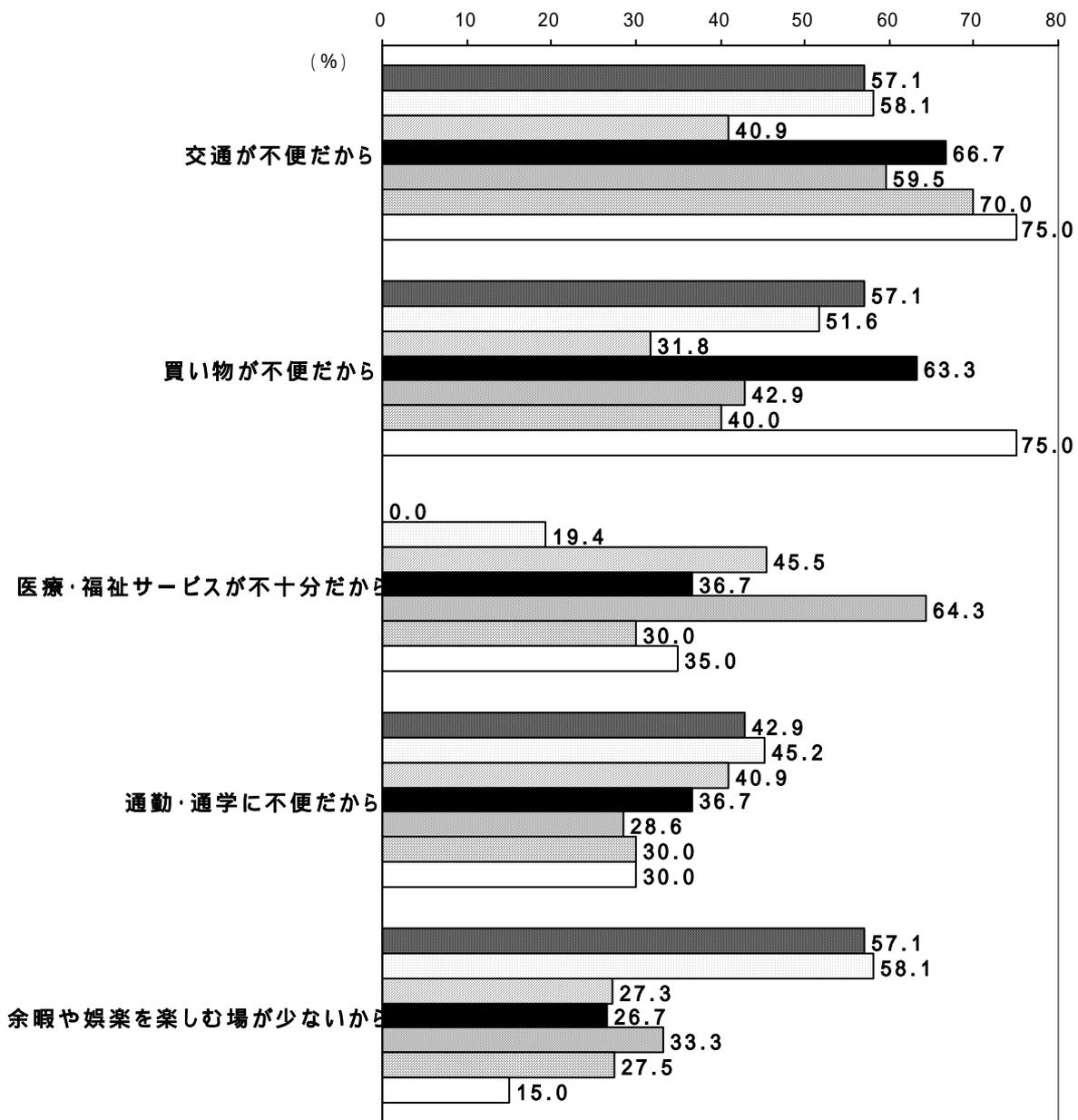
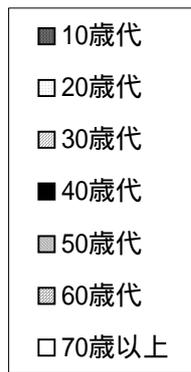
全体では、「交通が不便だから」が最も高く62.0%と過半数に達しており、次いで「買い物が不便だから」49.5%となっています。なお、これら2項目については、前問の住みやすい理由としても上位にあげられており、意見の違いがみられます。このほか回答率が高かったものは「医療・福祉サービスが不十分だから」38.0%、「通勤・通学に不便だから」34.9%、「余暇や娯楽を楽しむ場が少ないから」33.3%となっています。

年齢別では、10歳代、20歳代で「余暇や娯楽を楽しむ場が少ないから」、50歳代で「医療・福祉サービスが不十分だから」への回答率が約60%と比較的高くなっています。

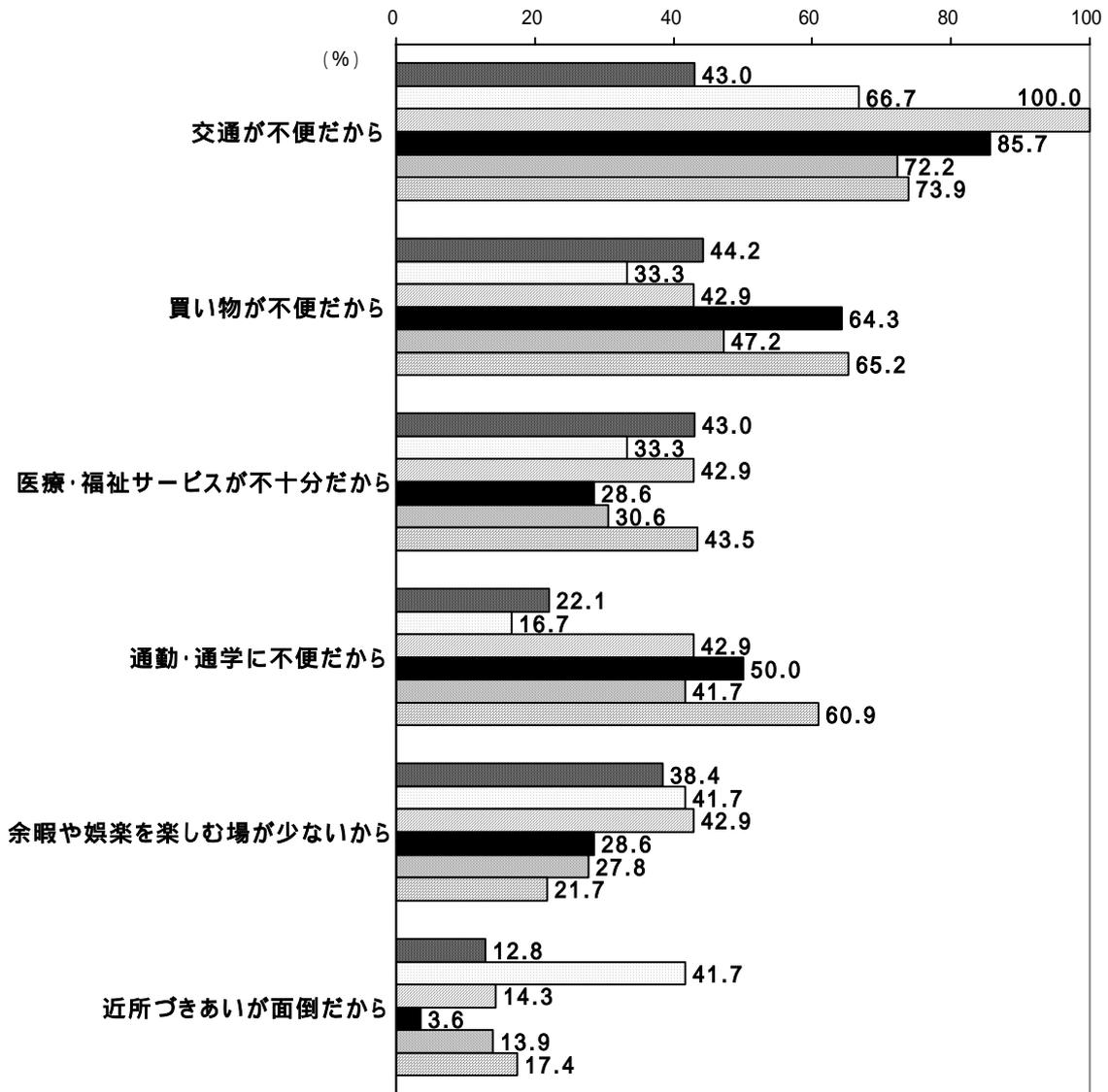
居住地区別では、結崎で「交通が不便だから」が40%台にとどまっているのに対し、他の地区では約70~100%で高い回答率となっています。



< 年齢別 > 上位 5 項目



< 居住地区別 > 上位6項目



4) これまでのまちづくりへの評価 (問7)

川西町のこれまでのまちづくりの取組みをどのように評価しますか。
それぞれの項目について、1つだけ番号を選んで、をつけてください。

全般に「変わらない」という回答が多い結果でした。

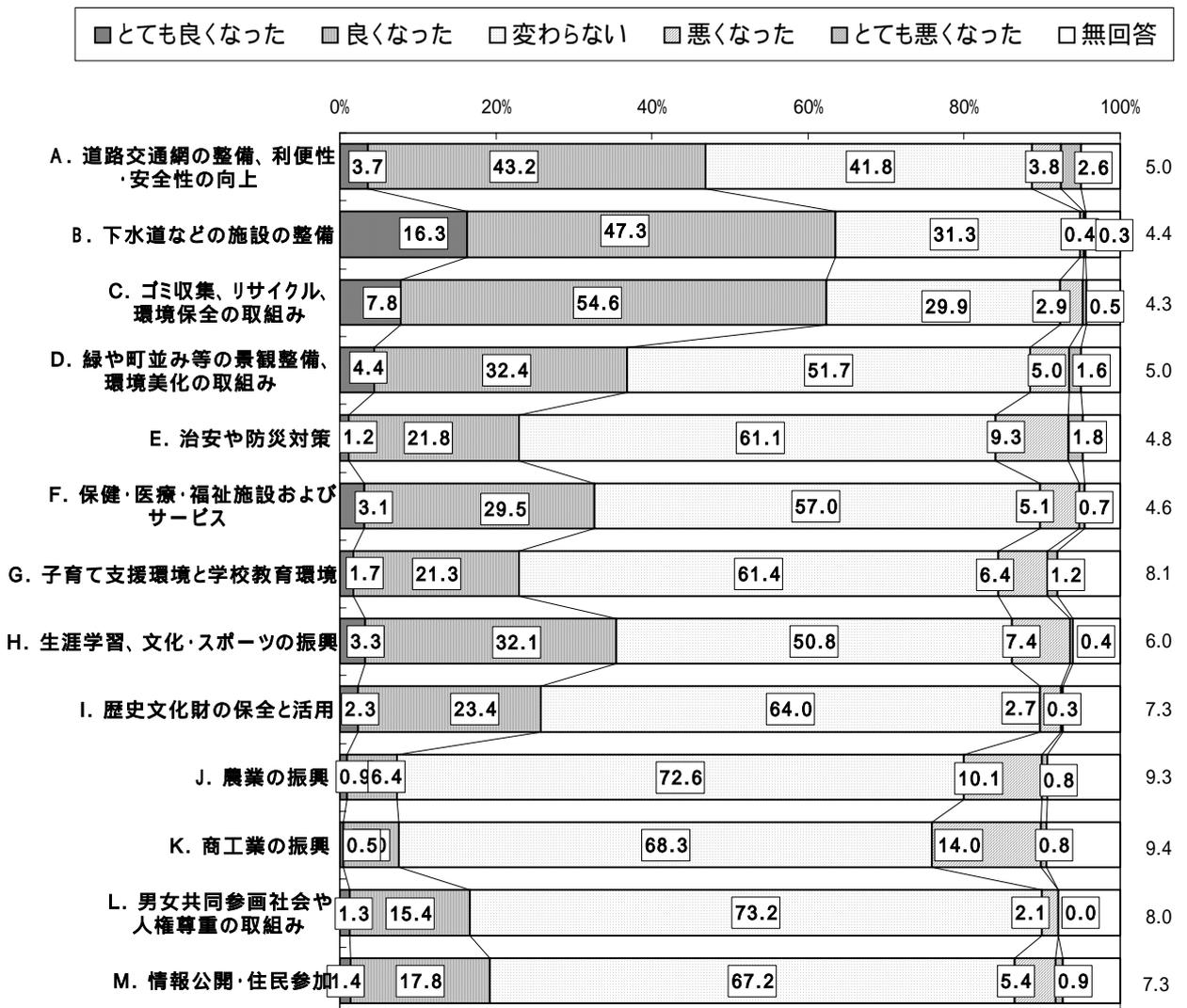
特に評価が高かった項目は「B. 下水道などの施設の整備」で、「とても良くなった」と「良くなった」を合わせると63.6%が良いと評価しています。同様に、「C. ゴミ収集、リサイクル、環境保全の取組み」では62.4%、「A. 道路交通網の整備、利便性・安全性の向上」では46.9%が良いと評価()しています

このほか、比較的評価が高かったのは「D. 緑や町並み等の景観整備、環境美化の取組み」「F. 保健・医療・福祉施設およびサービス」「H. 生涯学習、文化・スポーツの振興」の3項目で、いずれも30%以上が良いと評価()しています。

「とても良くなった」と「良くなった」の合計

<全体>

(全体数 766)



(3) 今後のまちづくりに必要なこと

1) 基盤整備の必要施策 (問8)

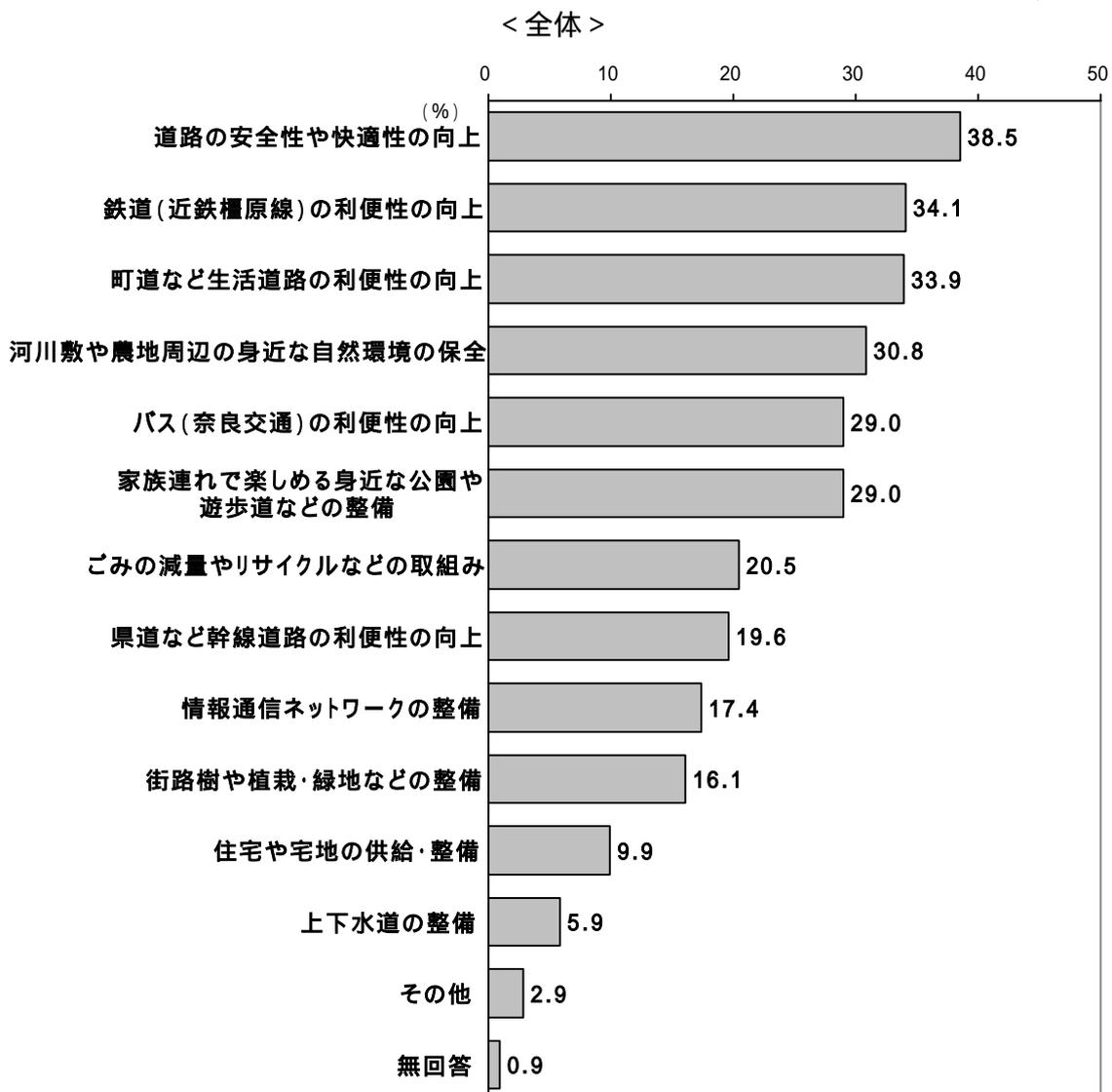
まちの基盤整備として、とくに必要と思われることは次のうちどれですか。

《3つまで選んでください》

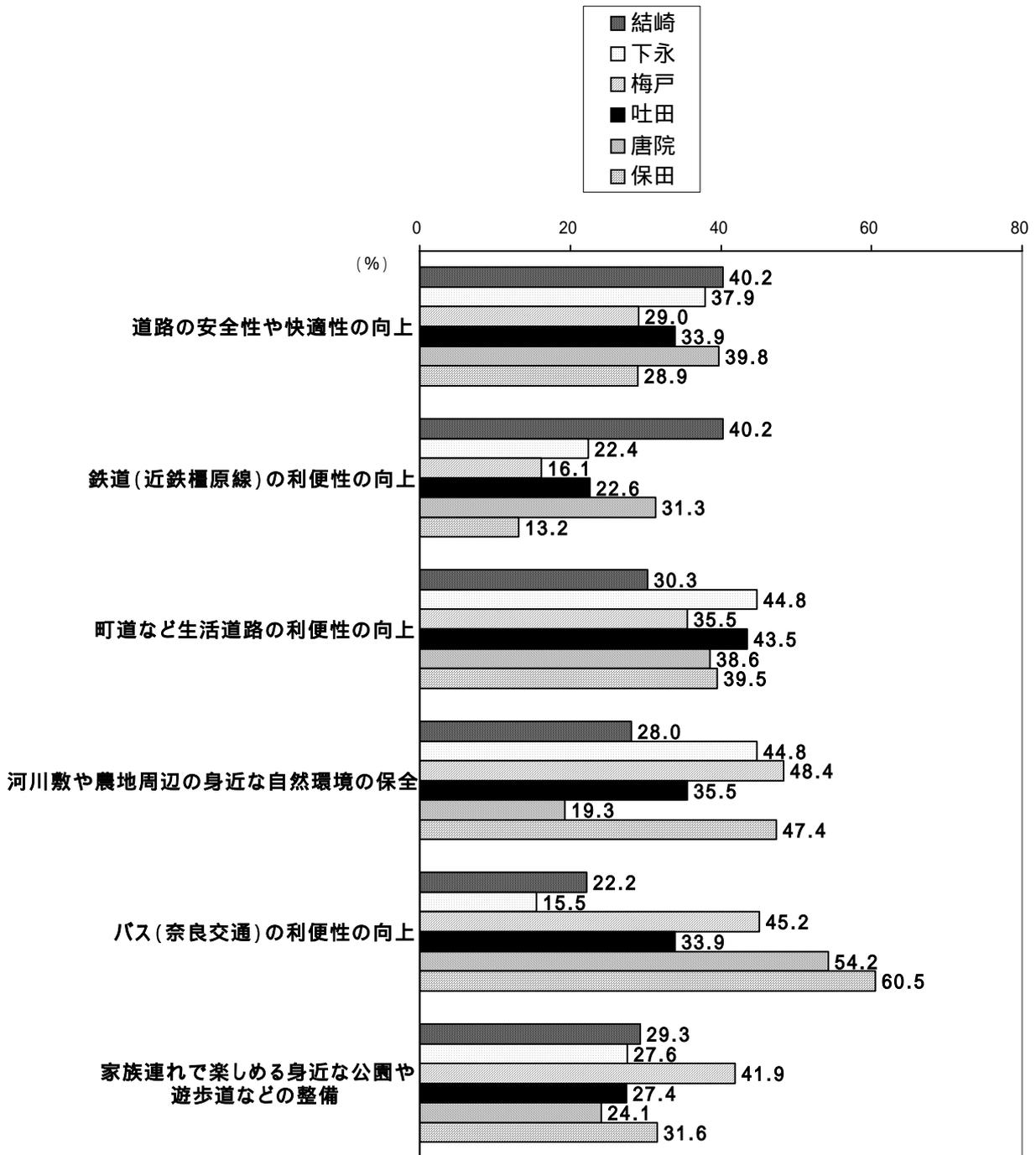
全体では「道路の安全性や快適性の向上」が38.5%で最も高く、次いで「鉄道の利便性の向上」34.1%、「町道など生活道路の利便性の向上」33.9%、「河川敷や農地周辺の身近な自然環境の保全」30.8%、「バスの利便性の向上」29.0%、「家族連れで楽しめる身近な公園や遊歩道などの整備」29.0%の順となっています。

居住地区別に最上位の項目をみると、結崎は全体同様「道路の安全性や快適性の向上」ですが、下永は「町道など生活道路の利便性の向上」「河川敷や農地周辺の身近な自然環境の保全」が同率で高く、梅戸は「河川敷や農地周辺の身近な自然環境の保全」、吐田は「町道など生活道路の利便性の向上」、唐院、保田は「バスの利便性の向上」となっています。

(全体数 766)



< 居住地区別 > 上位6項目

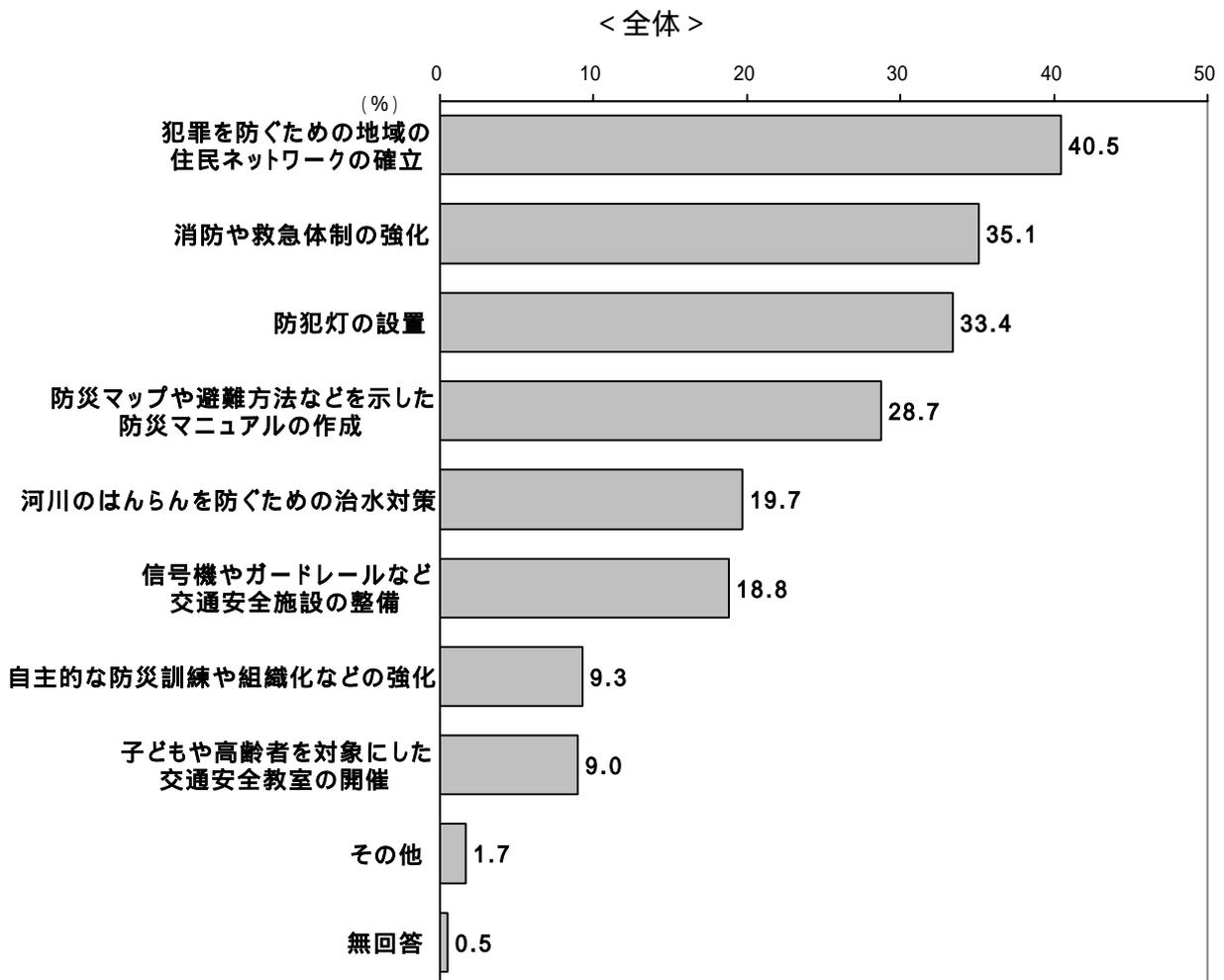


2) 安心・安全に関わる必要施策 (問9)

安心や安全に関わる施策として、とくに必要と思われることは次のうちどれですか。
《2つまで選んでください》

全体では「犯罪を防ぐための地域の住民ネットワークの確立」が40.5%で最も高く、次いで「消防や救急体制の強化」35.1%、「防犯灯の設置」33.4%、「防災マップや避難方法などを示した防災マニュアルの作成」28.7%の順となっています。

(全体数 766)

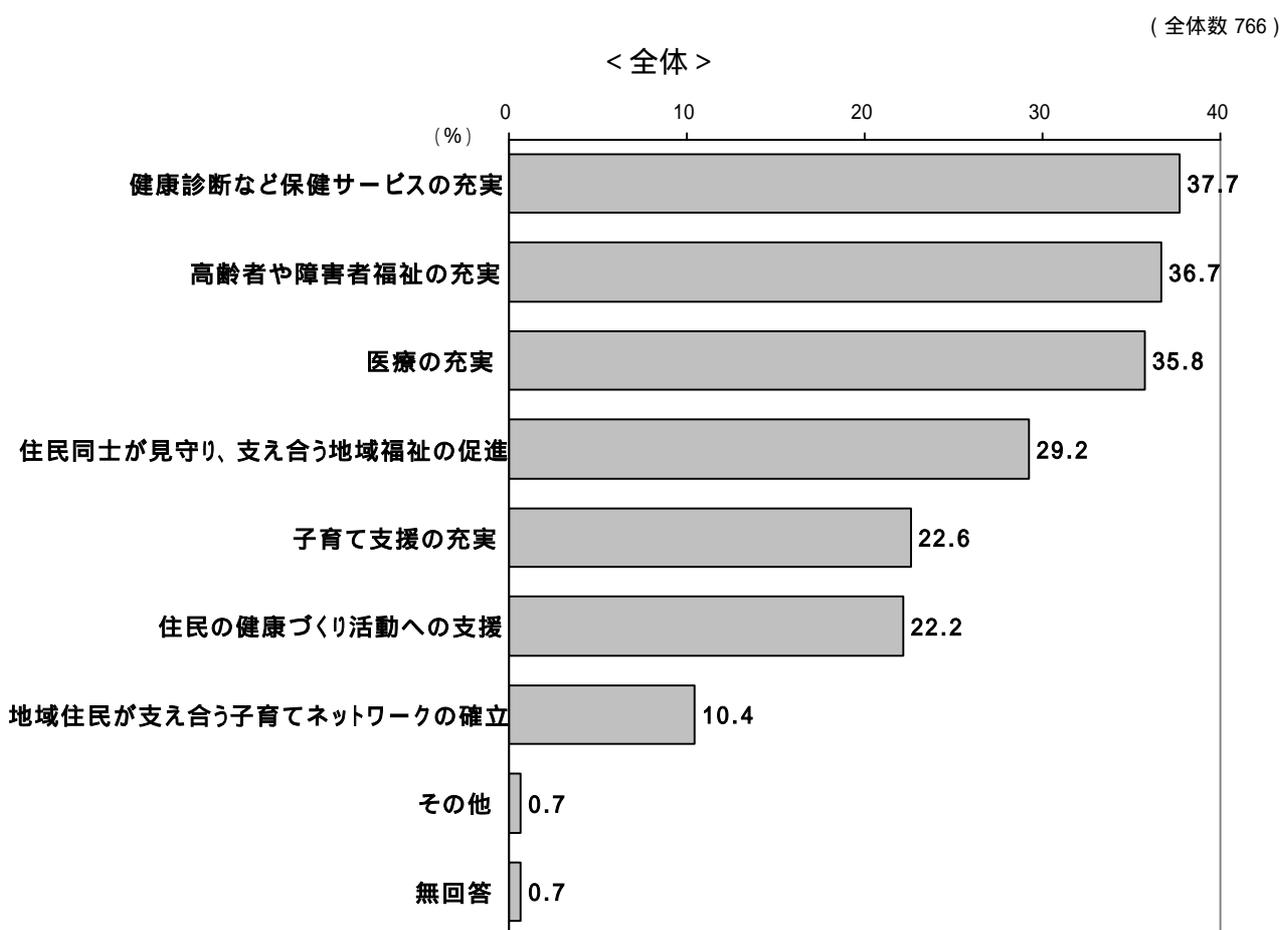


3) 健康・福祉の充実施策 (問10)

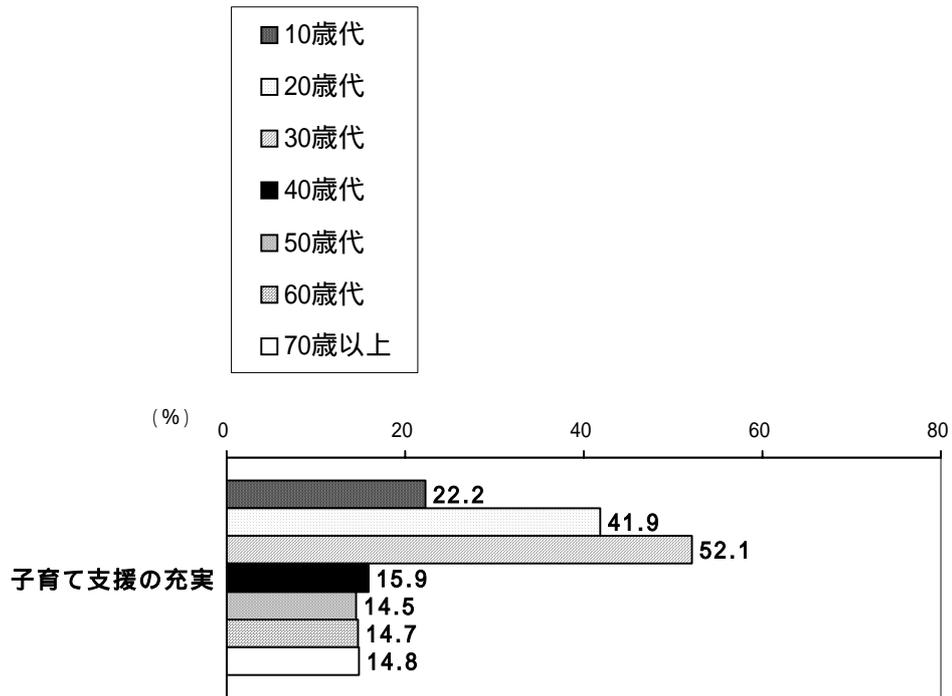
健康と福祉のまちづくりのために、とくに充実すべきと思われることは次のうちどれですか。《2つまで選んでください》

全体では、「健康診断など保健サービスの充実」37.7%が最も高くなっています。次いで「高齢者や障害者福祉の充実」36.7%、「医療の充実」35.8%の順となっています。

年齢別では、20歳代、30歳代で「子育て支援の充実」への回答が、他世代と比較して特に高くなっています。



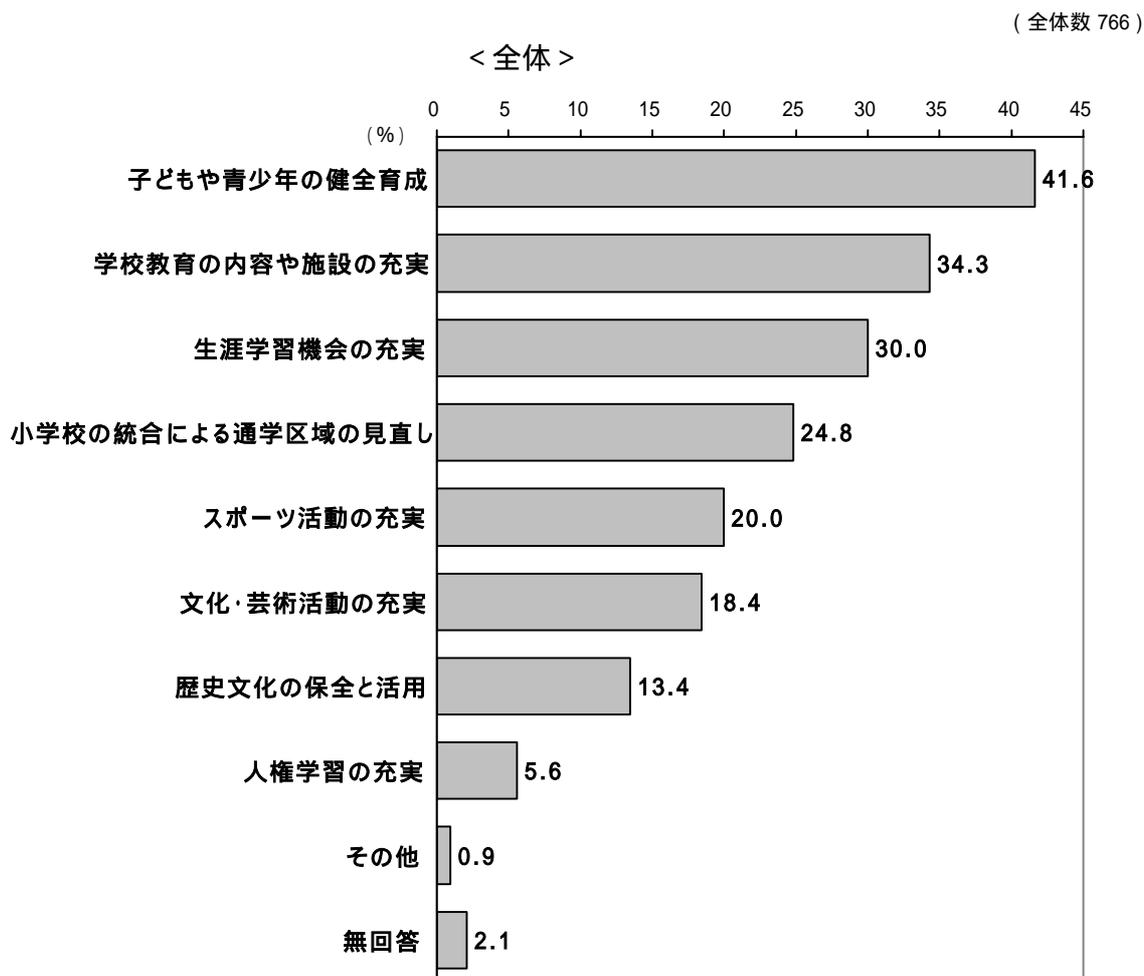
< 年齢別 >



4) 教育・生涯学習の充実施策 (問11)

教育や生涯学習に関わる施策として、とくに充実するべきと思われることは次のうちどれですか。《2つまで選んでください》

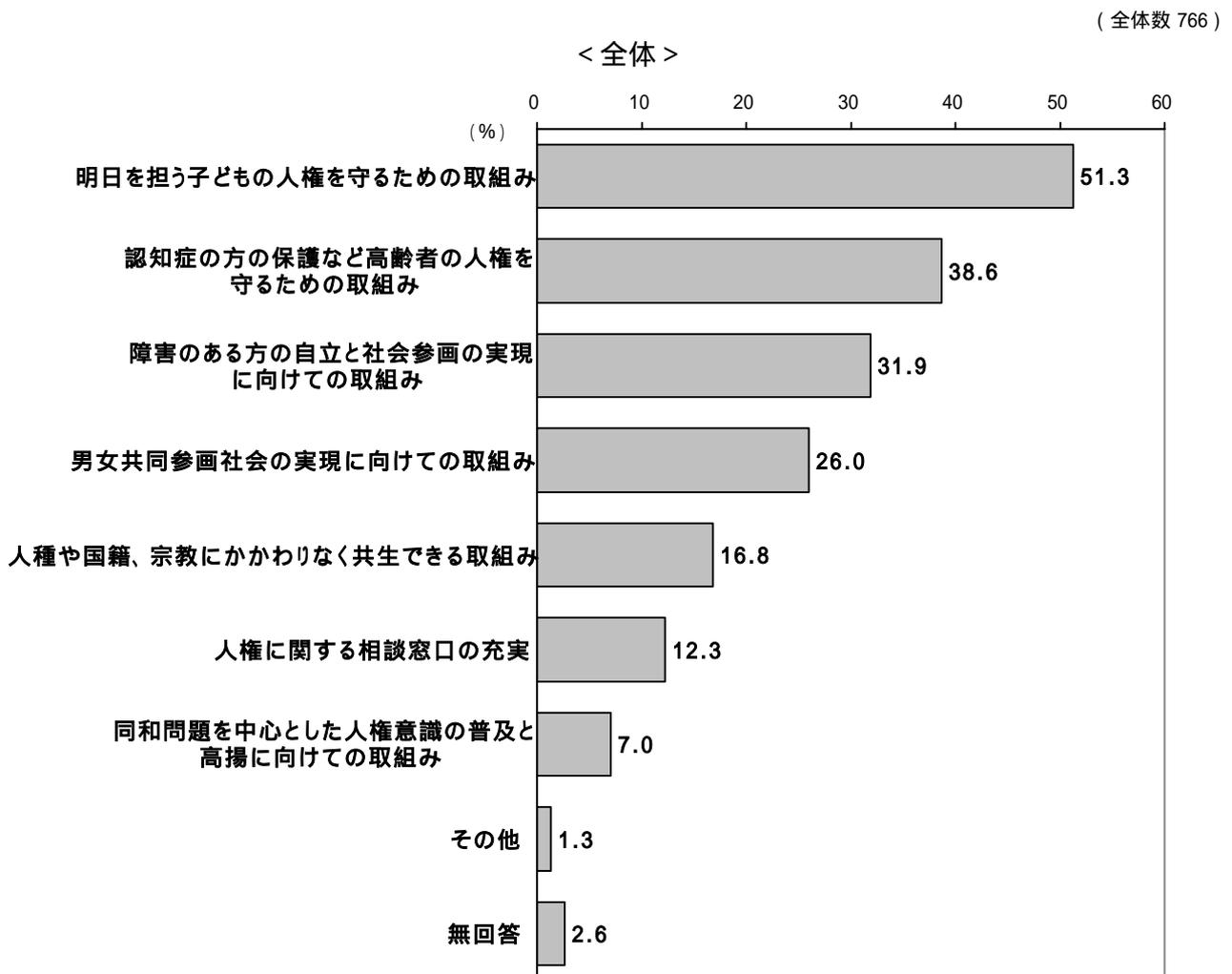
全体では、「子どもや青少年の健全育成」が最も高く41.6%となっています。次いで、「学校教育の内容や施設の充実」34.3%、「生涯学習機会の充実」30.0%の順となっています。「小学校の統合による通学区域の見直し」については、24.8%という結果でした。



5) 人権尊重の充実施策 (問12)

人権尊重のまちづくりのために、とくに充実するべきと思われることは次のうちどれですか。《2つまで選んでください》

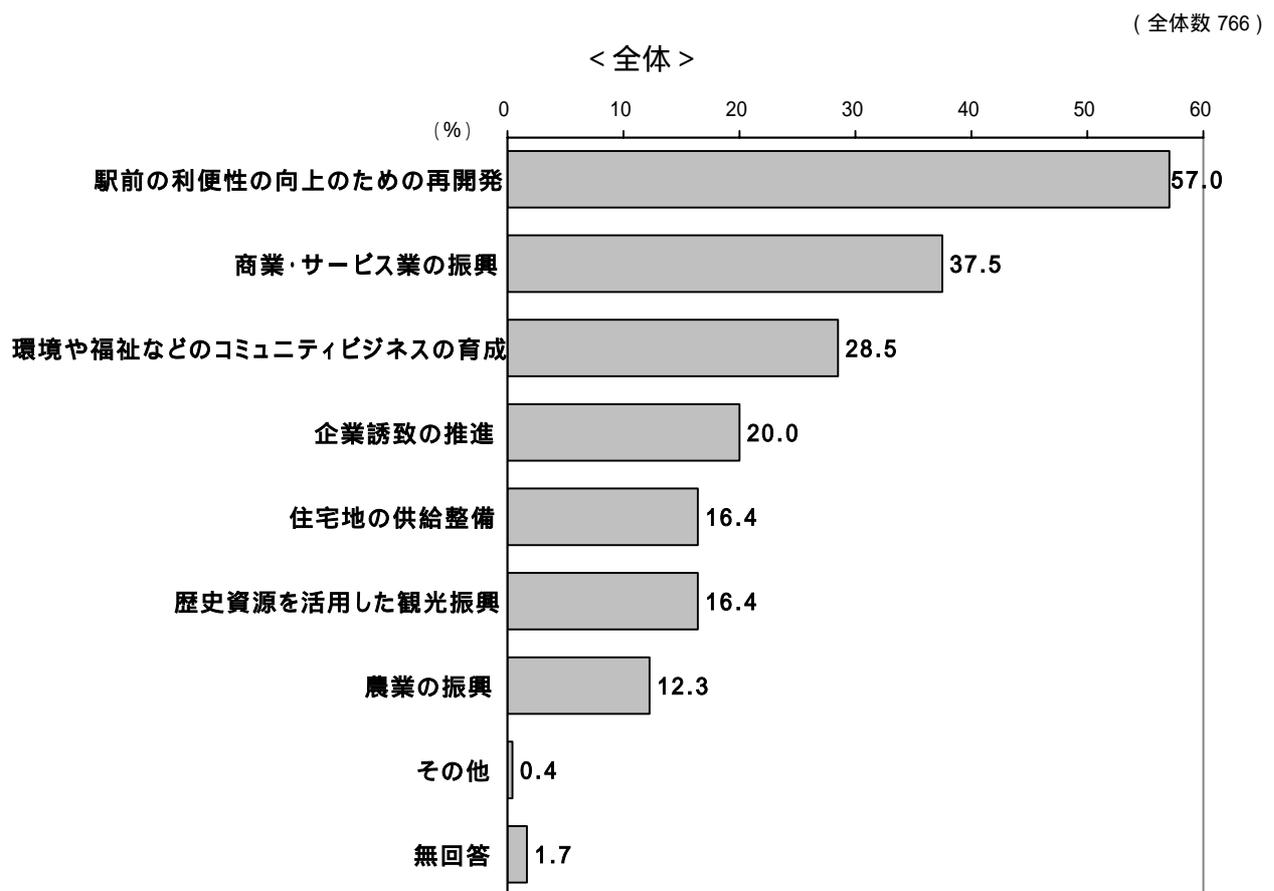
全体では、「明日を担う子どもの人権を守るための取組み」が51.3%で最も高く、次いで、「認知症の方の保護など高齢者の人権を守るための取組み」38.6%、「障害のある人の自立と社会参加の実現に向けての取組み」31.9%の順に高い結果でした。



6) 産業振興・活性化の必要施策 (問13)

産業振興やまちの活性化を図るために、とくに必要と思われることは次のうちどれですか。《2つまで選んでください》

全体では、「駅前の利便性の向上のための再開発」が57.0%で最も高く、過半数を占めています。これに次ぐのは「商業・サービス業の振興」37.5%、「環境や福祉などのコミュニティビジネスの育成」28.5%となっています。

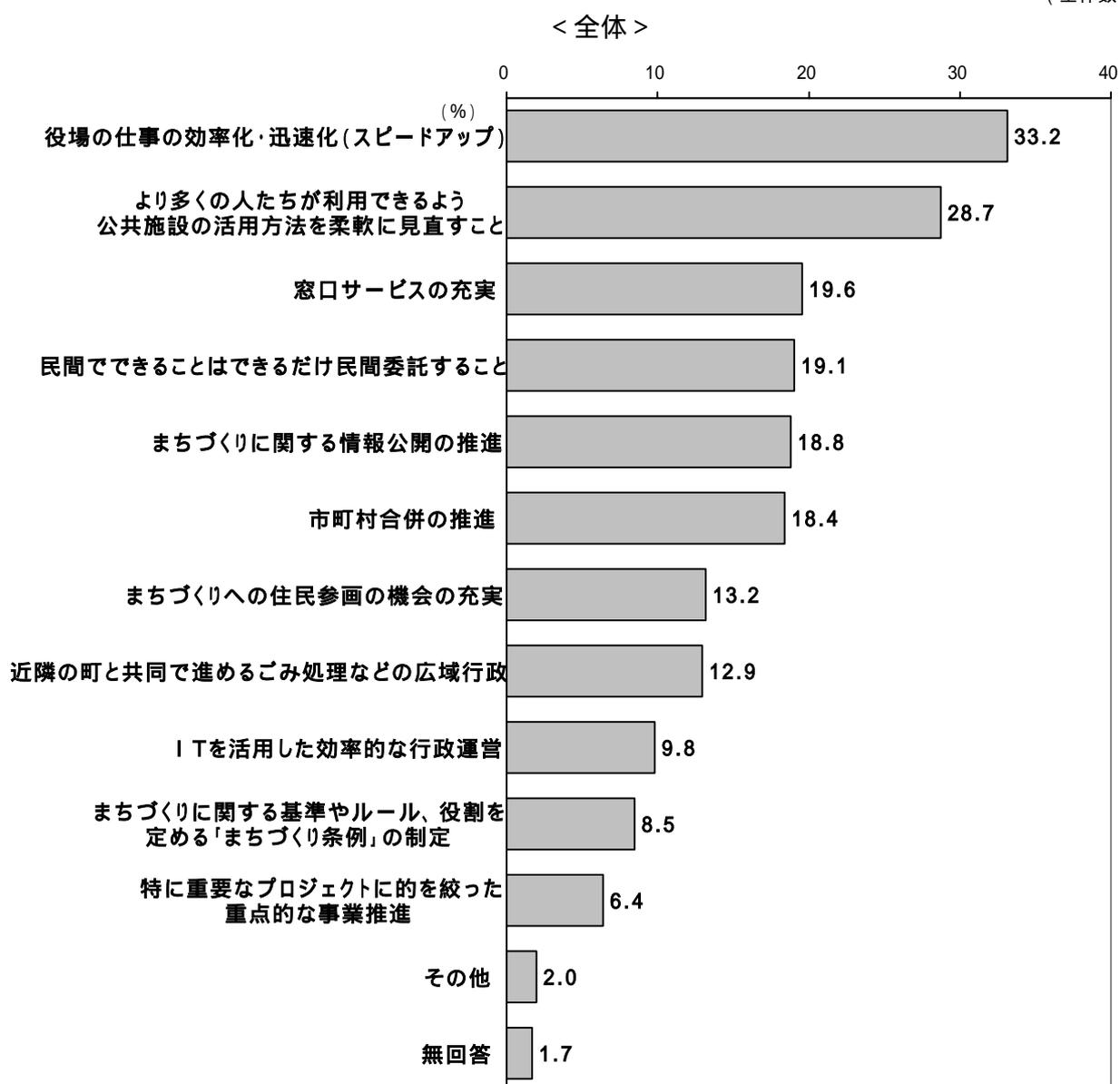


7) 行財政改革の必要施策 (問14)

行財政改革を推進するために、とくに必要と思われることは次のうちどれですか。
《2つまで選んでください》

全体では、「役所の仕事の効率化・迅速化」が33.2%で最も高くなっています。次いで「より多くの人たちが利用できるよう公共施設の活用方法を柔軟に見直すこと」28.7%、「窓口サービスの充実」19.6%、「民間でできることはできるだけ民間委託すること」19.1%の順となっています。

(全体数 766)

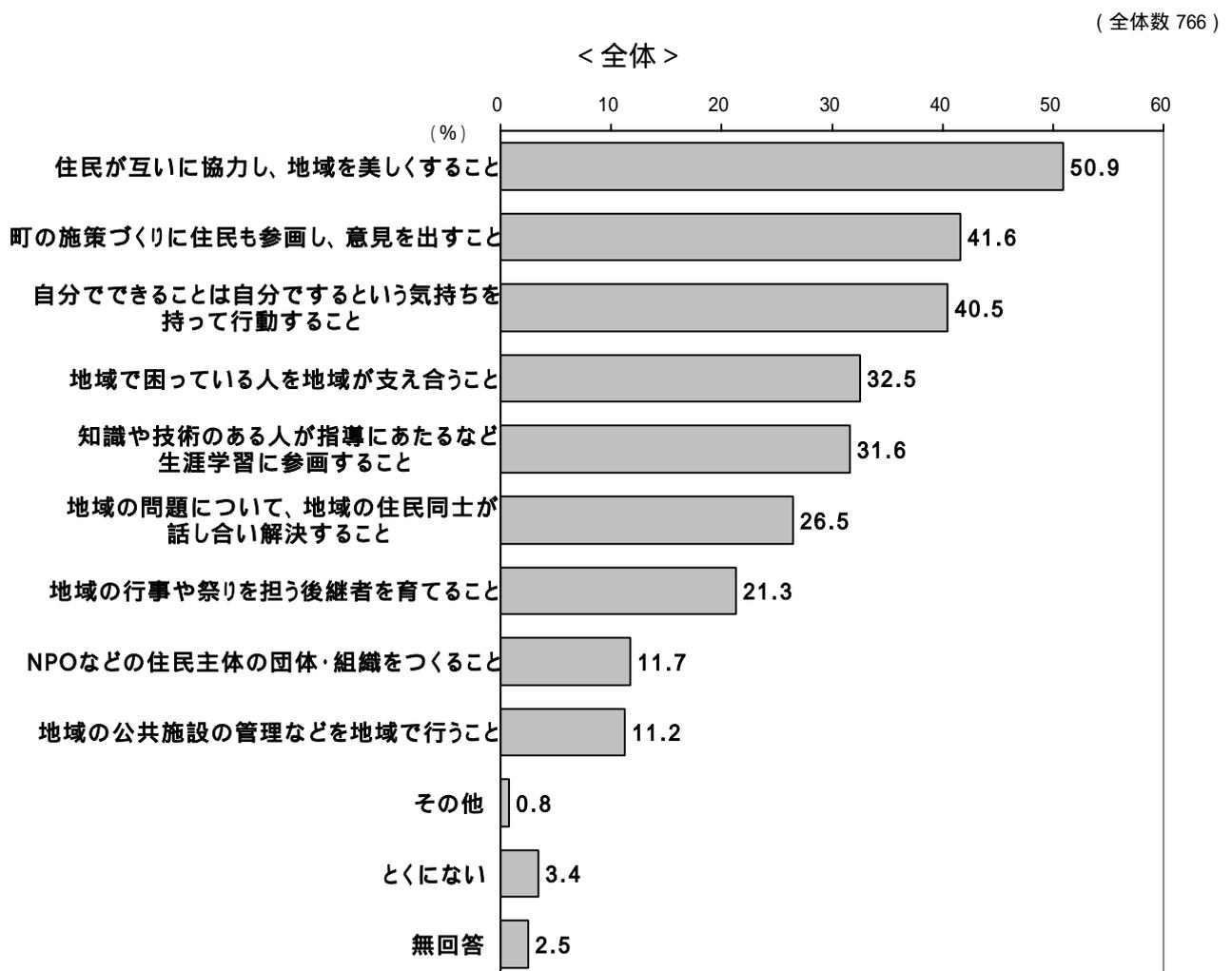


(4) まちづくりへの住民参加

1) 住民がまちづくり参加できること (問15)

住みよいまちづくりのためには、住民の皆さんの主体的な活動が必要です。
川西町をもっと住みよいまちにするために、住民の皆さんができることはどのようなことだと思えますか。《3つまで選んでください》

全体では、「住民が互いに協力し、地域を美しくすること」50.9%が最も高く、次いで「町の施策づくりに住民も参画し、意見を出すこと」41.6%、「自分でできることは自分ですという気持ちを持って行動すること」40.5%の順となっています。



2) 自分がまちづくり参加できること (問16)

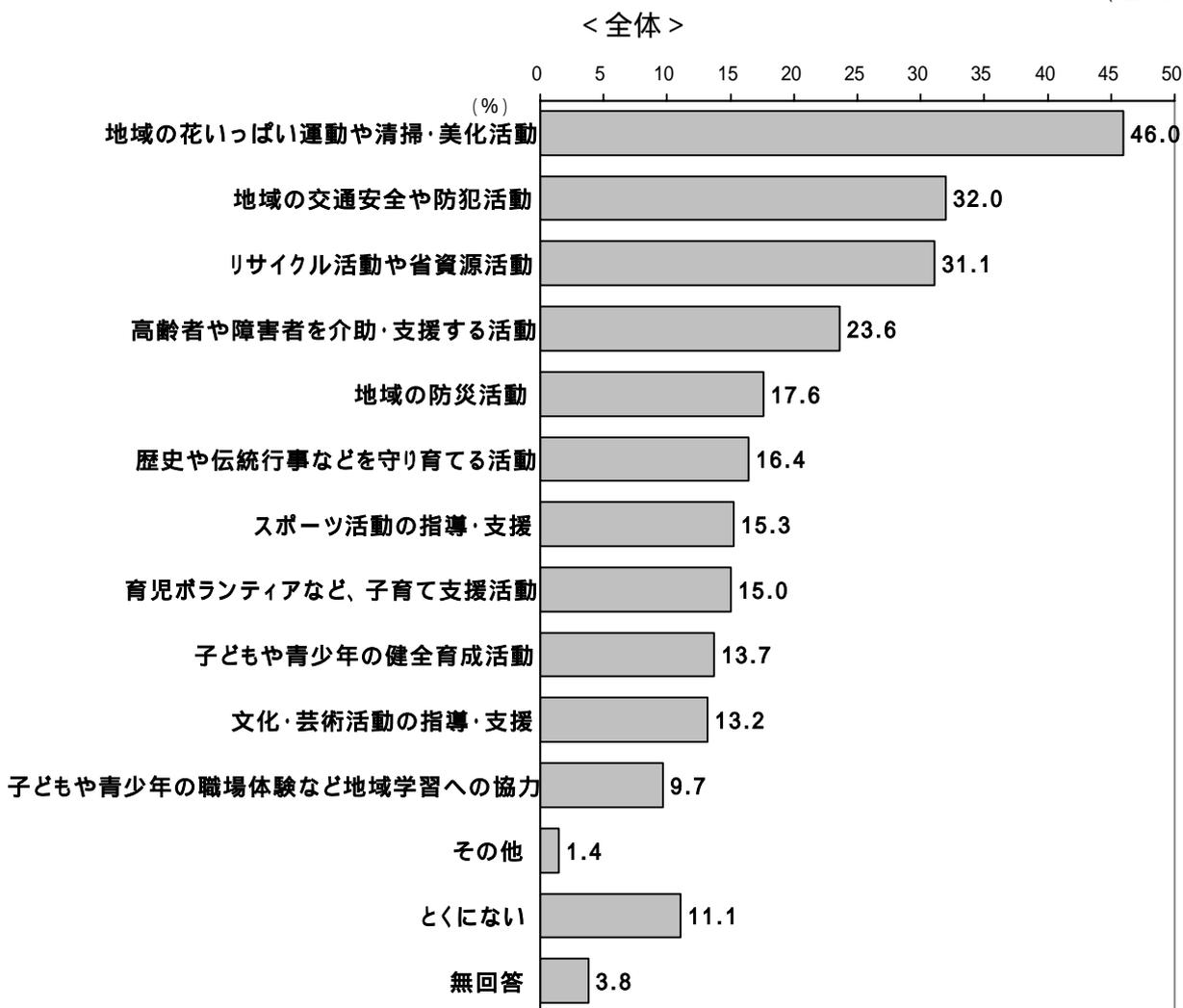
では、あなたが『何かに参加する』とすれば、どのようなことができますか。
《3つまで選んでください》

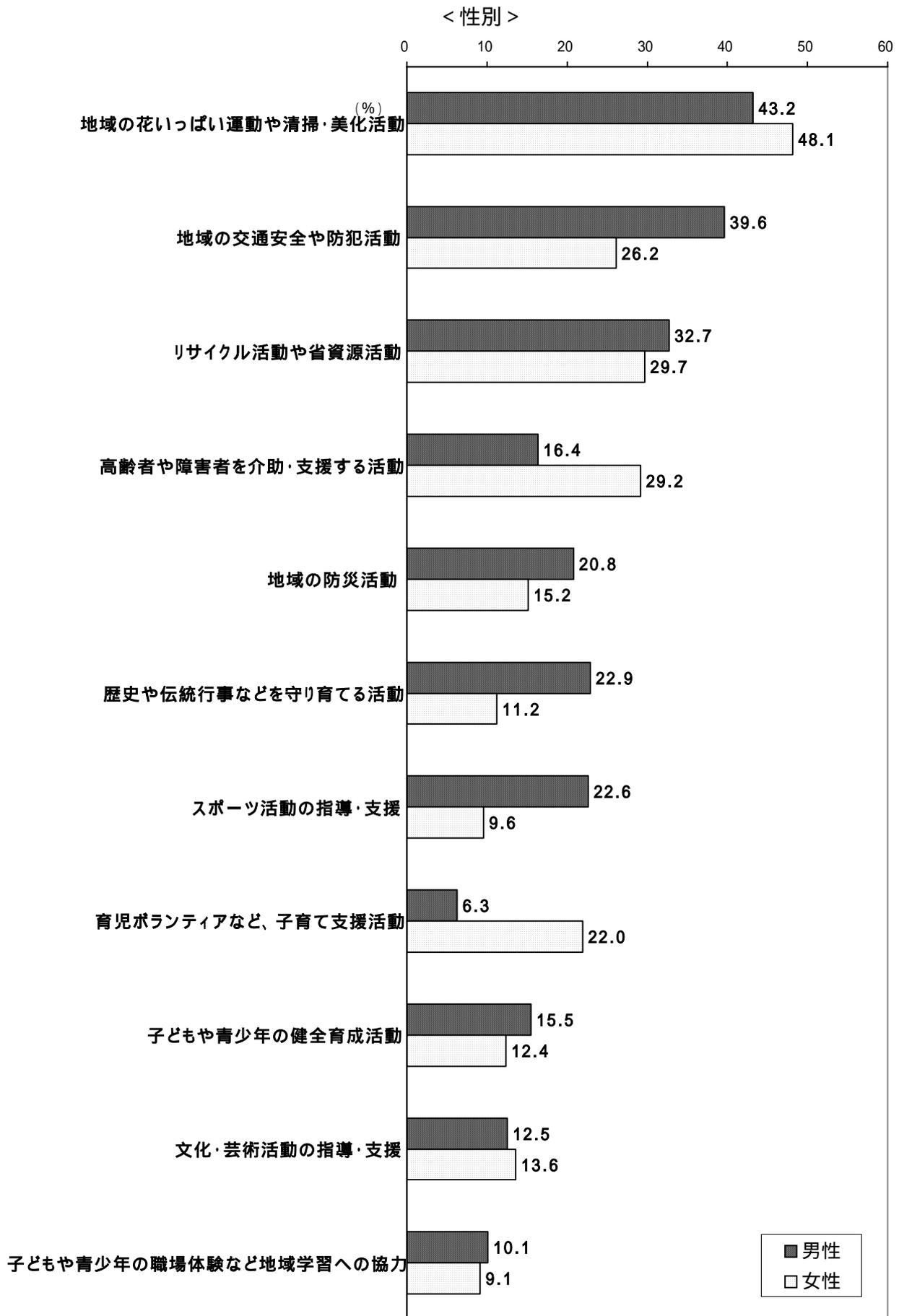
全体では、「地域の花いっぱい運動や清掃・美化活動」が46.0%で最も高く、次いで「地域の交通安全や防犯活動」32.0%、「リサイクル活動や省資源活動」31.1%の順となっています。

性別では、男性は「地域の交通安全や防犯活動」への回答が女性より10ポイント以上高く、女性は「高齢者や障害者を介助・支援する活動」「育児ボランティアなど、子育て支援活動」への回答が男性より10ポイント以上高い結果でした。

全体では15.3%と回答率の低い「スポーツ活動の指導・支援」について、年齢別にみると、10歳代、20歳代、30歳代では30%近くの回答がみられ、同様に「子どもや青少年の健全育成」は、40歳代で30%近くが参加意向を示していることがわかります。

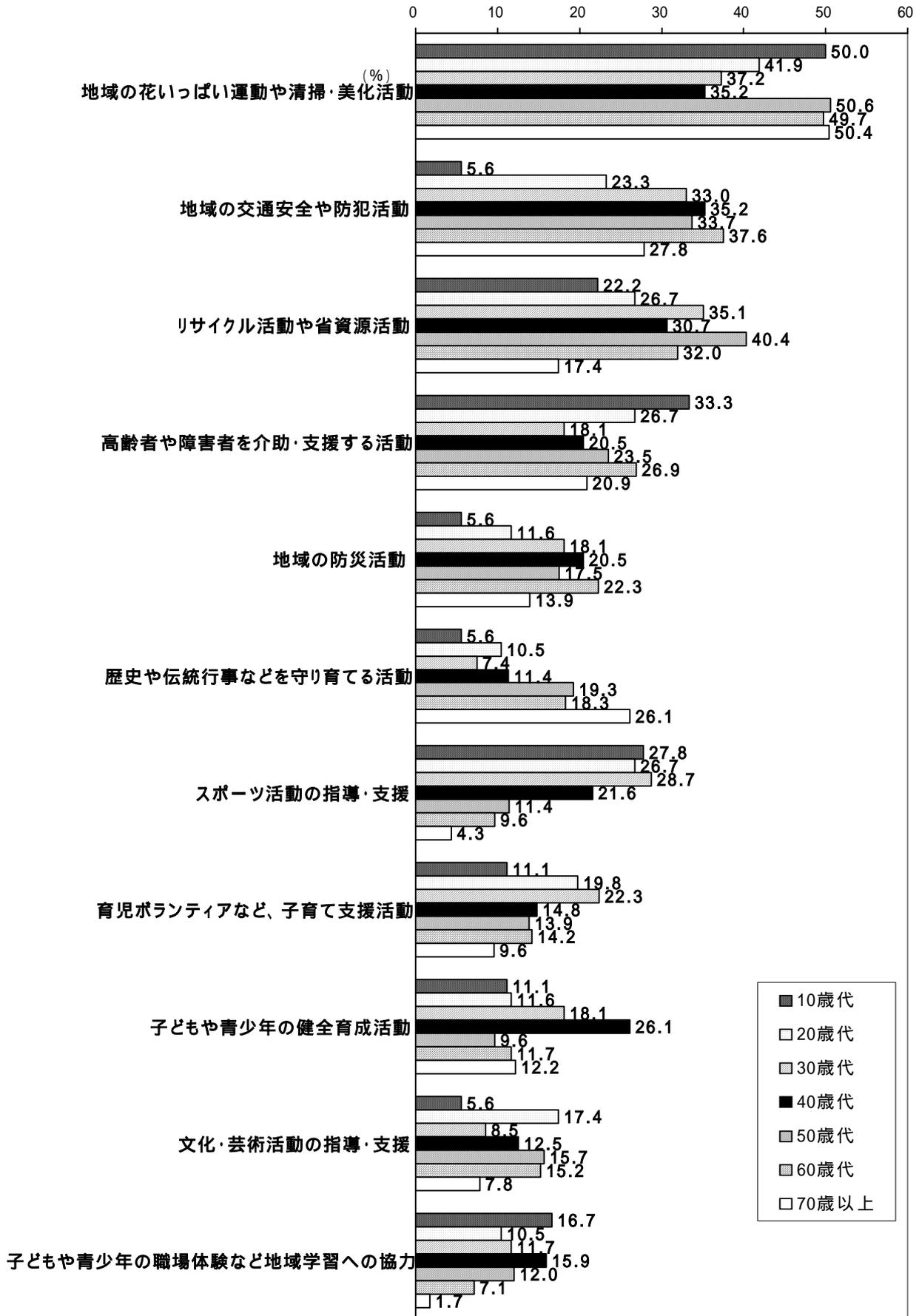
(全体数 766)





その他、とくにない、無回答については非表示

< 年齢別 >



その他、とくにない、無回答については非表示

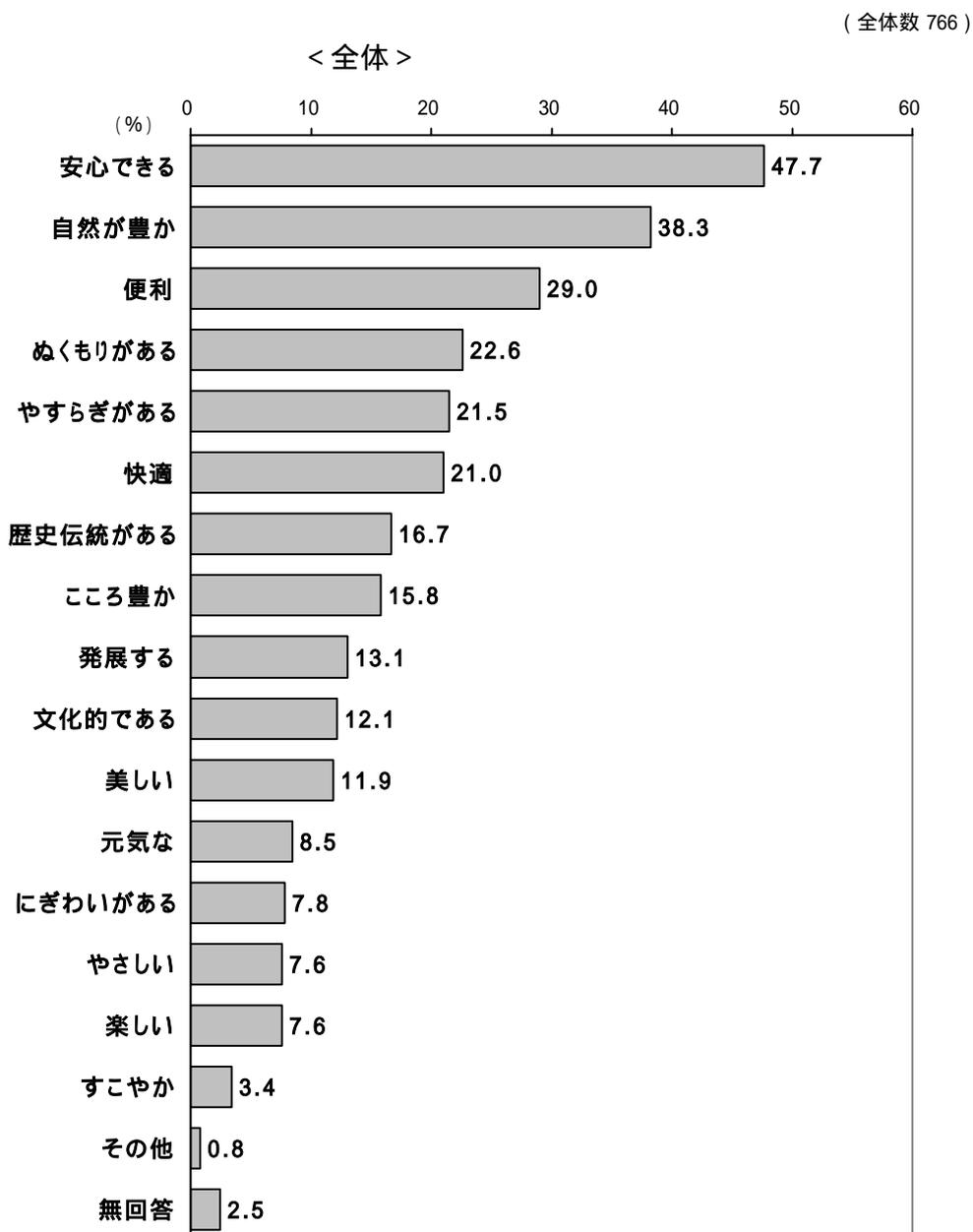
(5) まちの将来像

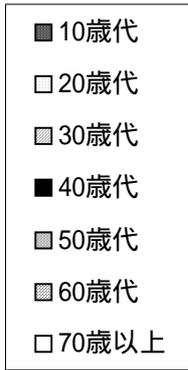
1) 将来の川西町のイメージ (問17)

あなたなら未来の川西町をどのようなまちにしたいですか。
イメージする言葉を選んでください。《3つまで選んでください》

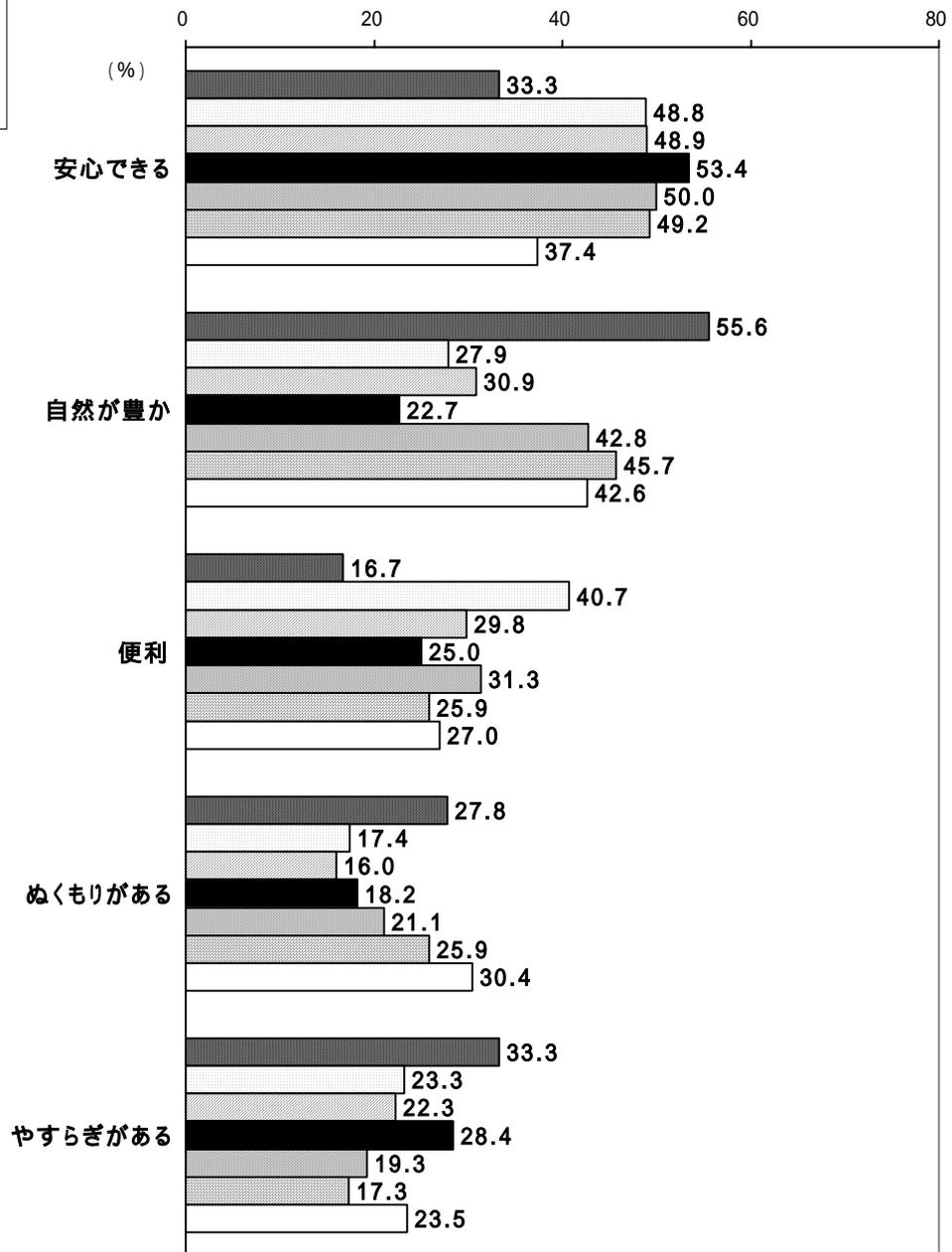
全体では、「安心できる」への回答が47.7%で最も高く、次いで高かったのは、「自然が豊か」38.3%となっています。このほか、「便利」29.0%、「ぬくもりがある」22.6%なども比較的高い結果でした。

年齢別では、10歳代は「自然が豊か」、20歳代は「便利」への回答が全体より10ポイント以上高くなっています。





< 年齢別 > 上位5項目

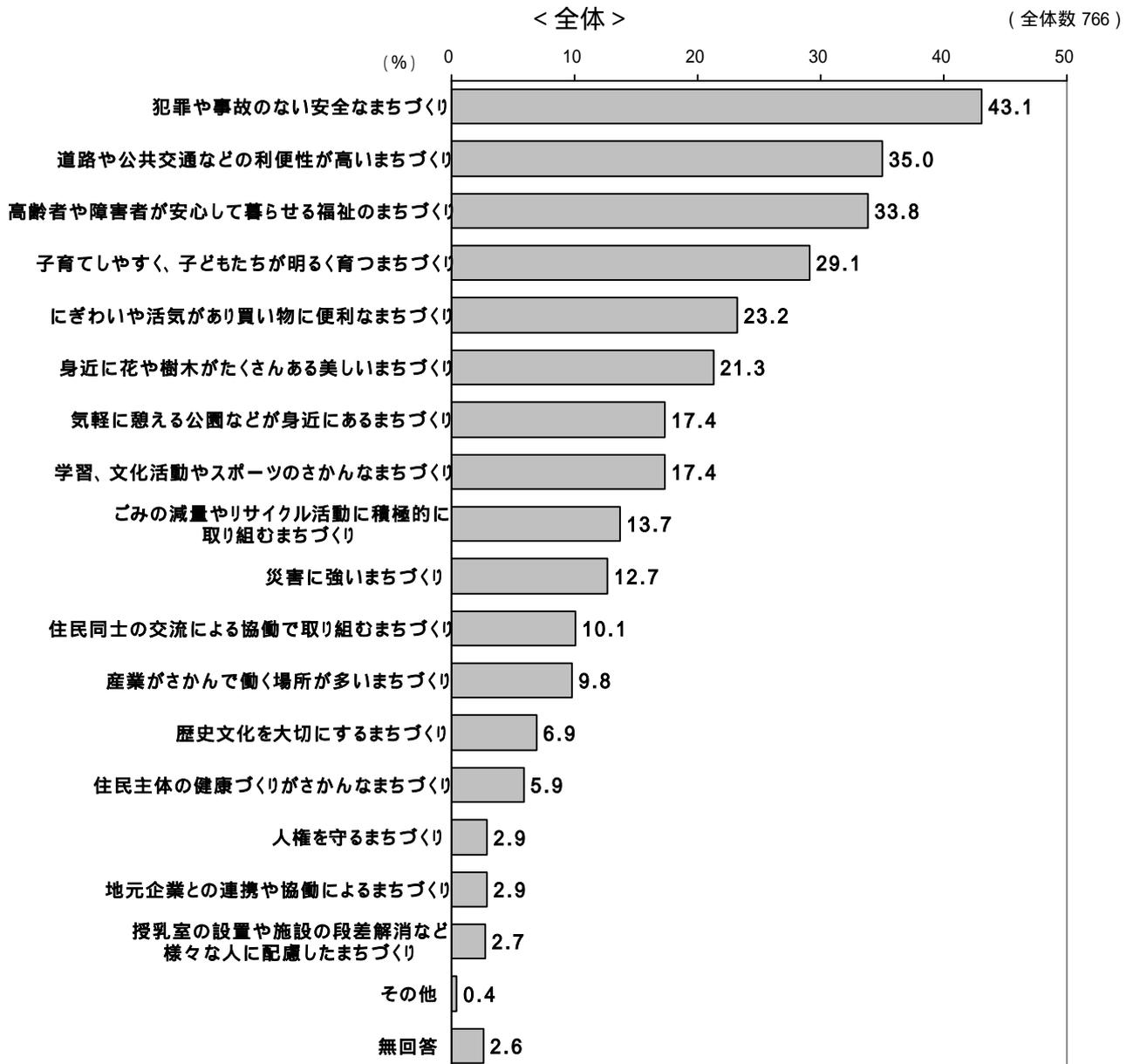


2) 今後10年間の重要施策 (問18)

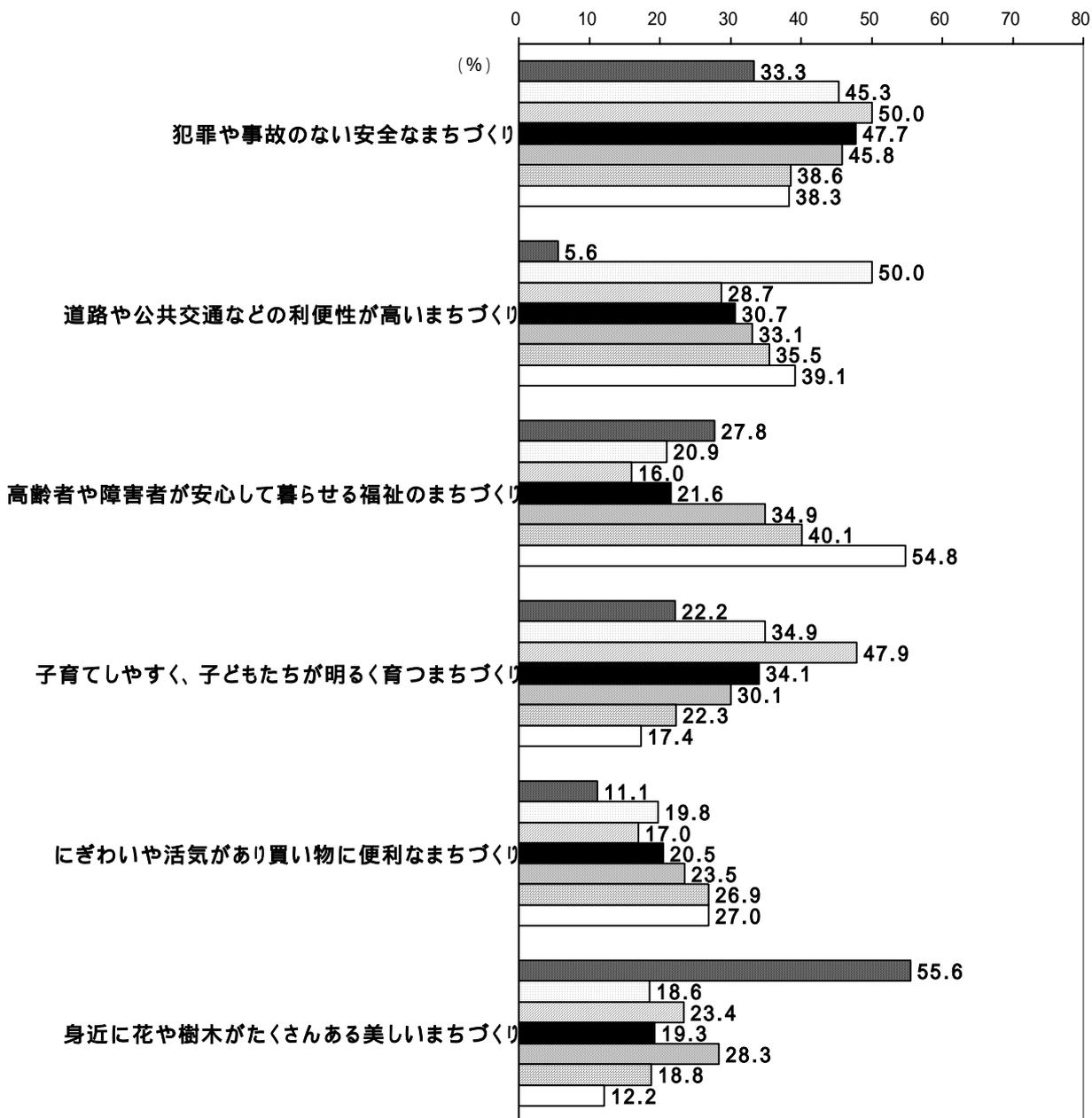
あなたが描いた川西町のイメージを実現するために、今後10年間にどのようなまちづくり施策が重要だと思いますか。《3つまで選んでください》

全体では「犯罪や事故のない安全なまちづくり」が最も高く、43.1%となっています。次いで「道路や公共交通などの利便性が高いまちづくり」35.0%、「高齢者や障害者が安心して暮らせる福祉のまちづくり」33.8%の順に高く、「子育てしやすく、子どもたちが明るく育つまちづくり」29.1%や、「にぎわいや活気があり買い物に便利なまちづくり」23.2%についても比較的高い結果でした。

年齢別では、10歳代は「身近に花や樹木がたくさんある美しいまちづくり」、20歳代は「道路や公共交通などの利便性が高いまちづくり」、70歳代では「高齢者や障害者が安心して暮らせる福祉のまちづくり」への回答が最も高くなっています。また、30歳代では「子育てしやすく、子どもたちが明るく育つまちづくり」への回答が他世代と比較して高くなっています。



< 年齢別 > 上位 5 項目



(6) 市町村合併

1) 合併について (問19)

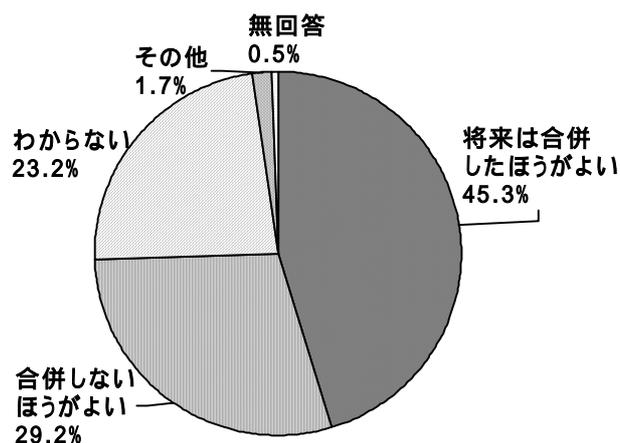
あなたは市町村合併についてどのようにお考えですか。《1つだけ選んでください》

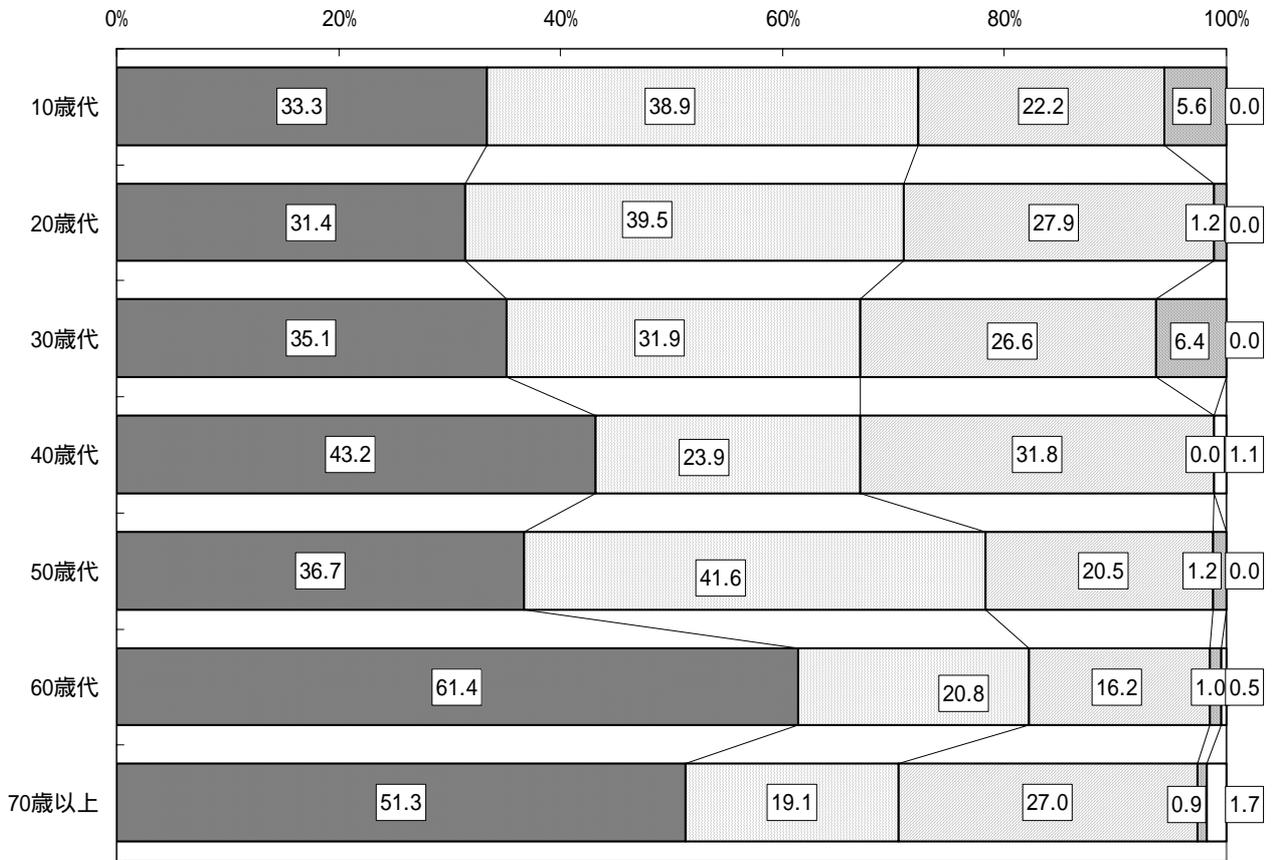
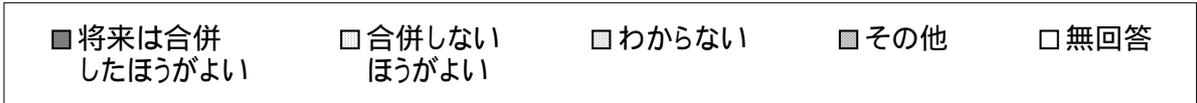
全体では、「将来は合併したほうがよい」が45.3%と、肯定意見が約半数を占めています。一方、「合併しないほうがよい」は29.2%、「わからない」は23.2%という結果でした。

年齢別では、60歳代で「将来は合併したほうがよい」への回答率が60%以上と高くなっていますが、逆に否定意見の「合併しないほうがよい」が肯定意見を上回っている世代は、50歳代、20歳代、10歳代となっています。

<全体>

(全体数 766)

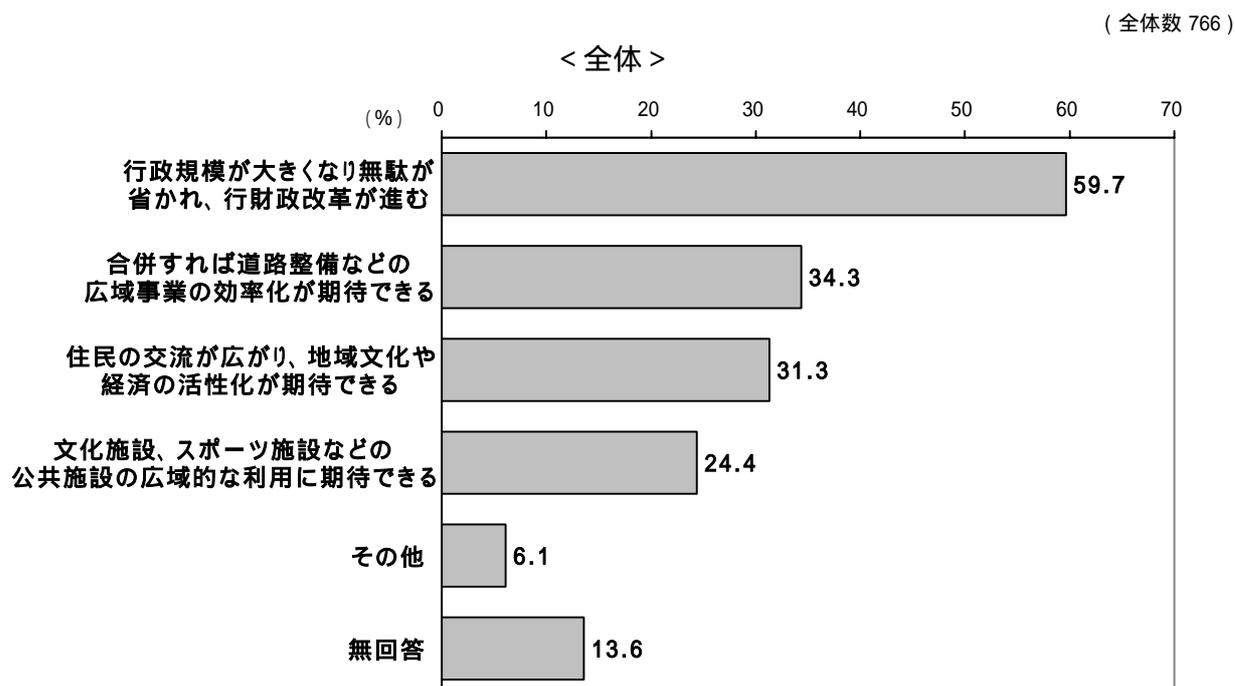




2) 合併に期待すること (問20)

市町村合併により、あなたが期待されることはどのようなことですか。
《2つまで選んでください》

全体では、「行政規模が大きくなり無駄が省かれ、行財政改革が進む」が最も高く、59.7%を占めています。次いで「合併すれば道路整備などの広域事業の効率化が期待できる」34.3%、「住民の交流が広がり、地域文化や経済の活性化が期待できる」31.3%の順となっています。



3) 合併で不安なこと (問21)

市町村合併について、あなたが不安に思われることはどのようなことですか。
《2つまで選んでください》

全体では、「公共料金や税負担が高くなる」が最も高く、59.0%を占めています。次いで高かったのは「小規模なまちならではの身近な行政サービスが期待できなくなる」49.7%となっています。

